

環境技術CEO商談会

開催日程 2024年9月9日（月）～9月13日（金）

主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

目次

エネルギー

P2~13

産業機械

P14~21

水処理

P22~30

リサイクル

P31~36

食品・化学品

P37~45

消費財

P46~49

スタートアップ

P50~51

建材・その他

P52~58

EIN01

ACMEグループ

ACME Group

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] グルグラム（ハリヤーナー州）
 [他事務所] ー
 [HP] www.acme.in



当社太陽光発電

- 設立年 : 2003年
- 資本金 : 6億6000万円
- 従業員数 : 1000名
- 売上高 : 235億円
- 事業内容 : 再生可能エネルギー事業
- 主要製品 : 水素、アンモニア生産
- 取引先 : 政府、肥料業界
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は2008年アジアで初めて太陽光発電プロジェクトを実現した企業にて、その後は太陽光発電のみならず、グリーン水素、アンモニア（再生可能エネルギー由来の電力を利用して生成される。）製造のパイオニアとして発展してきた。太陽光発電は5GWの能力があり、また前述のグリーン水素、アンモニアではインドで初めての製造プラントを建設した。現在では、政府・産業界向けのみならず、一般住居用にはエネルギー貯蔵システム（ESS）も供給している。既にパートナーを通しオマーンに事業を展開しているが、新たに日本企業との提携を狙い商談会に参加する。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

現在当社が注力しているのは、水素、アンモニア製造にて、年間1000万トンの製造を目指している。特に、電力を使用して水を水素と酸素に分解する電気化学デバイスの水素発生装置（電解槽）については、関連製品も含め、日本からの購入を検討したい。単発の購入ではなく、日本企業と長期安定的に購入できる体制を構築したい。なお、購入先は製造企業でも商社でも構わない。水素のみならず、アンモニア製造に関しても、同様に発生装置購入を検討したい。

■ 共同開発・技術提携

水素、アンモニア拡販のためにも、製造に関する技術向上、生産増量を通し、環境対策にも貢献していくことでグローバルレベルでのプレゼンスを拡大したいと考えており、そのためにも是非日本企業との技術提携を検討したい。当社の強みは、インド、オマーンにおけるグリーン水素、アンモニアの生産販売の実績。政府関連も含め、当社は強固な顧客基盤も保有している。日本企業とは長期的な関係を構築したく、その一つの方法として合併の設立も検討可能。



電解槽

EIN02

マハティ・インダストリーズ

MAHATI INDUSTRIES PRIVATE LIMITED

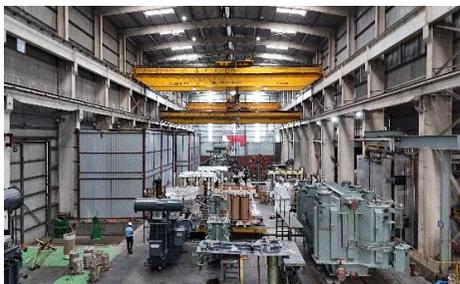
[参加予定者] 取締役
 [本社] プネー（マハラシュトラ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://mahati.com/>



315MVA400kVトランス
 (輸送中)



125MVA220kVトランス
 (試験中)



工場内組立エリア

- 設立年 : 1965年
- 資本金 : 11億円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 32億7000万円
- 事業内容 : 電力及び電動機機械製造業
- 主要製品 : 各種トランス、水力発電設備
- 取引先 : 各種製造業、鉄道会社、電力・インフラ企業、政府機関・公共企業等
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

各種製造業や電力関連設備、電気機関車等に使用される高圧トランスを主として製造販売している企業。併せて、小規模の水力発電設備の開発運営も手掛けている。この分野において50年以上の歴史と経験を持ち、発電・変圧・送電について顧客の要望に応じた最適な機器を提供することができる。また長年にわたり、あらゆる種類の送変電設備について修繕・改修およびメンテナンスサービスを手掛けている。再生可能エネルギーとして今後更に重要性を増すと考えられる水力発電の分野においても、インド全土において発電施設の開発・設置に携わり経験知見を積み重ねてきている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

日本からCKDフォーマットのコンバーター/インバーターを購入したいと考えている。購入に併せてインド現地での組立・試験等のための技術支援をいただきたい。また、将来的にはフェーズ2としてインドでの現地製造（ライセンス）を検討したいと考えている。インドにおける電気機関車の将来需要に関与することができれば、かなりの規模のビジネスとなることが期待できる。これらに必要なのは、5000~7000kW対応・回生タイプのIGBT整流インバーターであり、詳細スペックや価格、保証内容等については今後の議論や入札状況による。

■ 共同開発・技術提携

配電関連機器や設備の開発製造に向けた技術提携について、優れた技術と経験を有する日本企業との商談を希望している。特に、特別高圧（EHV）や超高圧（UHV）に対応したパワートランス（最大765kV対応）、炉用変圧器、移相変圧器、分路リアクトル等の開発製造協力を考えている。また、今後の需要増大が見込める、グリーン水素発生のための電気分解設備機器、および蓄電・エネルギー貯蔵システムの製造開発における技術提携も検討したい。加えて、単なる技術提携のみならず合併による技術開発、事業展開も検討が可能である。

ETW01

プロモア・エンバロメント・アンド・エナジー
Promore Environment & Engery Co., Ltd

[参加予定者] 取締役

[本社] 雲林県

[他事務所] ー

[HP] <https://www.inpower999.com.tw/>

政府労働センターに設置された当社PVシステム

- 設立年 : 2006年
- 資本金 : 11億2500万円
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 24億円
- 事業内容 : 太陽光発電システム製造業
- 主要製品 : 太陽光発電システムEPC、EV充電CPO、BESS
- 取引先 : PV関連事業の製造業
- 国際認証 : ISO9001、UL IEC TS 63049
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は太陽光発電システムを基盤とし、電気自動車充電スタンド事業に積極的に投資している、EV用充電ステーションの運営および建設事業者となる。グリーン環境保護とクリーンな地球を追求することを目的として設立し、グリーンエネルギーと省エネ技術の応用の開発と研究に注力してきた。台湾のエネルギー政策に則り、太陽光発電システム、電気自動車充電スタンド、エネルギー貯蔵システム、小型油圧システムなどのエネルギー関連プロジェクトを重点的に取り組む。台湾で初めて両面複層ガラス太陽光発電を設置しており、品質とサービスは市場で高い評価を得ている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

太陽光発電システムに関連するリサイクル効率を向上させる自動または半自動のPVパネルリサイクル機械、新しいパネル製造に使えるリサイクル原材料（例：ガラスを20%追加）を調達したい。PVパネルを小さな部品に分解し、電子カメラを通して様々な材料にふるい分けることができる機械に設置することを想定している。

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本からインバータ、バッテリーエネルギーストレージシステム（BESS）、PVシステムの他のコンポーネントを輸入し、台湾で販売したい。過去5年間、前年比10%以上の売上をあげていることから、契約は独占代理店契約を希望。

■ 共同開発・技術提携

台湾では、PVパネルをリサイクルする適切な機械がなく、日本企業のPV部品（ガラス、アルミニウム、EVAパッドなど）の自動カメラスクリーニングを求めており、量産段階の研究開発を行いたい。開発場所は台湾を念頭に置いているが、他でも問題なく、市場は台湾市場と他のアジア諸国を想定。パートナーの日本企業にはロイヤルティを支払う意向がある。

INPOWER 電動車快充電



当社EV充電ステーションのポスター

EBE01

キューピンチ

Qpinch

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] アントワープ
 [他事務所] ー
 [HP] <https://qpinch.com/>



SABIC ライトハウス
 設計容量 1.0MW / 10 barg

- 設立年 : 2012年
- 資本金 : 32億8000万円
- 従業員数 : 17名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 化学機械、装置製造業
- 主要製品 : 熱変換技術、黒鉛
- 取引先 : 石油・ガス会社、
石油化学工場など
- 国際認証 : VCA (安全品質ラベル)
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

クリーンテクノロジー企業である当社は、産業廃熱から熱エネルギーを生成する熱変換技術を専門としている。エネルギー効率と環境の持続可能性がより重視されるなかで、ゲームチェンジャーとして過剰な熱損失への対応に取り組んでいる。事業内容は、研究開発、技術開発、事業開発、運営などを行っている。この技術は、すべての産業の精製、化学プロセス、炭素回収に重点を置いた熱プロセスに適用可能。主な顧客は、石油・ガス会社、精製、石油化学、セメント、発電など、二酸化炭素回収装置を導入している工場を持つ大企業が中心である。日本企業とは、中小企業からは部品などの購入、大企業には製品・技術の販売を進め、輸出入両面で関係強化を進めている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

石油化学、石油・ガス、および炭素回収の領域における産業廃熱からカーボンニュートラル熱エネルギーを生成する熱変換技術を開発販売しており、この設備にはグラファイト・コンポーネントが使用される。そこで、炭素部品の生産者やサプライヤーからの購入を考えている。化学製品、燃料精製業界向け製品を提供している、強いノウハウを持つ日本企業に興味を持っている。当社の持つ、低い変動コスト、高温リフトの生成、最高の COP 電気の実現に寄与する日本製部品を求めている。



ボレアリス
 設計容量 1.3MW / 6~10 barg

EMA01

グリーン・ラグーン・テクノロジー

Green Lagoon Technology Sdn Bhd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] クアラルンプール
 [他事務所] ー
 [HP] <https://glt.my/>



バイオガス発電所

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 1億8500万円
- 従業員数 : 181名
- 売上高 : 11億1000万円
- 事業内容 : 環境ソリューション業
- 主要製品 : 電力、バイオガス
- 取引先 : 電力業界、パーム油生産メーカー、農業・畜産業者
- 国際認証 : ISO9001、MyHIJAU認証
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

廃棄物管理や再生可能エネルギーにおける革新的で持続可能な環境ソリューションの提供に重点を置く企業である。2010年にパーム油業界向けのクリーン開発メカニズム(CDM)への参加から事業を開始し、新しいグリーン製品やビジネスモデルを拡大するための強固な基盤を形成してきた。現在は農業、パーム油、食品加工業界向けのバイオガス発電所のコンサルティング、設計、建設、設置、運転、供給、保守を中核事業としており、パーム油の粉碎時の副産物として生成されるバイオガスを電力に変換し、固定価格買取制度の下で全国の電力網に供給している。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

当社は現在バイオガスからバイオメタン、バイオCNG、バイオCO2、有機廃棄物のバイオ肥料や昆虫タンパク質へのバイオ変換等、バイオマスを利用可能な材料に変換、多様化することを模索している。パームバイオマス、家畜糞尿、その他のスケラブルな有機廃棄物などの多様な原料による新製品開発や川下製品の多様化において専門技術を持つ日本企業との合併会社設立を前提とした商談を期待している。合併会社の事業範囲は川下製品の開発とし、設立場所はマレーシアを想定している。

■ 共同開発・技術提携

現在推進しているパームバイオマス、家畜糞尿、その他のスケラブルな有機廃棄物などの多様な原料による新製品開発において、マレーシアでは技術的専門知識やサプライチェーンを形成するエコシステムが不足している。これらの専門技術とノウハウを持つ日本企業と協業することで、原料の多様化を実現したい。具体的には家畜の廃棄物からのバイオガス生産を最大化するためのアンモニア回収技術を求めている。



バイオガス発電所

EUS01

オンボード・コンサルティング・タイランド

Onboard Consulting Thailand

[参加予定者] 取締役
 [本社] ヒューストン (アメリカ)
 [他事務所] バンコク (タイ)
 [HP] <http://www.onboardconsulting.org/>



調達希望製品①



調達希望製品②



調達希望製品③

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : 1億2800万円
- 事業内容 : 再生エネルギー業
- 主要製品 : ソーラー発電機器の設置、メンテナンスサービス
- 取引先 : 米国のソーラー発電事業者
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

米国に本社を置く企業のタイ拠点から当商談会に参加。米国人CEOは米国大手電力会社のパートナーとして業務に従事し、2019年に太陽光発電設備の設置業として起業した。現在では11MW相当の太陽光パネルを提供し、事業サポートを目的としてタイにオフショアチームを設置している。主な顧客である米国の一般家庭向けのソーラーパネル設置にあたっては、中国製パネルに非常に高い関税が課されることや品質面の問題から、日本製品の調達を検討すべく商談会に参加する。当面は米国向けの供給を想定しているが、タイでも同様の事業を計画中である。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

写真にあるような3種類の太陽光発電関連製品である、ソーラーパネル、インバーター、バッテリーの調達に向けた商談を希望している。米国市場では中国製品への関税が高いため、日本製への置き換えを検討したい。将来的なタイ市場への事業展開においては、インバーターは日本製の使用を検討したい。参考までに、米国での平均的なソーラーパネル設置費用は5万ドル(約750万円)となる。円安効果も期待して当面は米国市場への供給を希望するが、タイでも同様の事業を数年以内に開始できるよう計画している。上記製品に加えて、インターネットを経由し遠隔で太陽電池システムのバッテリーを制御できるシステムを提供できるサプライヤーとの商談に関心が高い。「デマンドレスポンス」(消費者が電力使用量を制御することで電力需要パターンを変化させること)の普及に対する電力会社からの高い関心が背景にある。

EBE02

ニア・グリッド・ソリューションズ

Near grid Solutions BV

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ローケレン

[他事務所] ー

[HP] <https://en.neargrid.solutions/>

ベルギーにある建設現場の
Neargrid Boost

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 1953万円
- 従業員数 : 4名
- 売上高 : 5億465万円
- 事業内容 : エネルギー業
- 主要製品 : モバイルバッテリーシステム、クラウドプラットフォーム
- 取引先 : 建設会社
- 国際認証 : 欧州でのインバーター・バッテリーシステム販売認証
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、タワークレーンを備えた建設現場に電力供給するモバイルバッテリーシステムの開発・販売を行うシステムインテグレーターである。設立して4年目だが、大規模で平均単価が2550万円のシステム販売、複数製品の販売による顧客シェアの拡大、他社との協業により、少ない人数で非常に高収益を上げている。建設現場で高評価を築き、ベネルクス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）におけるマーケットリーダーである。市場の競争激化に備え、トップランナーの地位を維持するため、他社との差別化ができる、信頼性が高く高品質な日本の技術を求めている。まもなく中東に輸出を開始し、日本市場も調査したい。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

顧客に納品するシステムで使うインバーターとバッテリー技術を求める。当社は、1台あたり100～500kW、100～500kWhのシステムを2025年に80台、2026年に120台、販売する予定である。建設現場のエンドユーザーが電力・エネルギー製品をプランニングできるプラットフォームも求める。使用する電気機器と利用可能な電源接続に基づき、必要なバッテリーシステムと既存の電源接続で十分か否かが判別できるもの等を探している。システムがニーズに適合した時点で、できるだけ早期に購入したい。

■ 共同開発・技術提携

現在、UPSインバーターと組み合わせて鉛蓄電池を使用しているが、Cレートの高いリチウムイオン電池技術に移行する必要がある。当社システムはディーゼル発電機により供給されることもあり、インバーター制御はディーゼル発電機制御に対応できなければならない。ディーゼル発電機の電力はインバーター電力の20～40%に過ぎないため、インバーターの技術的制御に課題が生じている。予算は最大1500万円用意している。利用可能な日本企業の製品の改善・変更を重視する。場所は未定だが、最終的には当社施設でテストを行う。



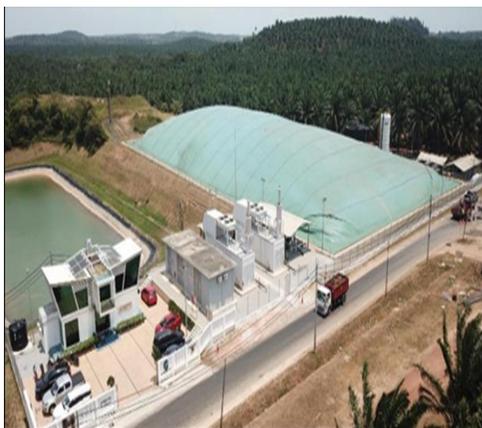
システム運用の概要図

EMA02

コンコード・グリーン・エナジー

Concord Green Energy Sdn. Bhd.

[参加予定者] 取締役
 [本社] クアラルンプール
 [他事務所] ー
 [HP] <https://concord.group/renewable-energy/>



施工プラント

- 設立年 : 1994年
- 資本金 : 7億9500万円
- 従業員数 : 111名 (グループ全体)
- 売上高 : 3180万円
- 事業内容 : プラント建設業
- 主要製品 : バイオガスプラントの設計、建設
- 取引先 : 国営バイオガスプラントなど
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

持ち株会社であるConcord Alliance Sdn Bhd傘下の事業会社5社のうちのひとつ。2014年よりマレーシアとインドネシアで再生可能エネルギー事業を展開している。バイオガスプラントやパーム油工場でのバイオ圧縮天然ガス (バイオCNG) プラントの設計・設置が主な事業分野。設計から運営保守まで一気通貫で対応でき、現在では7つのプラントが稼働中で累積設備容量は15.6MW。政府からFIT割当を確保し6つの新たな発電所が建設予定。本商談会では、バイオガス製造設備の調達やマレーシア、インドネシアでの合弁、出資の可能性について商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

バイオマスエンジンはオーストラリアより購入。日本からのハイエンド製品の調達も商談対象となる。要望する製品と基本仕様は冷却塔は80~40℃、バイオガスブローは毎時600~1200m³、バイオガススクラバーは毎時600~1200m³。ガス分析計は5%CH₄、35%CO₂、H₂SO-500ppm。また流量計は毎時600~1200m³、排水流量計は毎時600-1200m³、遠心移送ポンプは毎時40-200m³となる。なお、システムやソフトウェアは商談対象外。今後、マレーシアやインドネシアで手掛けるプラントにおいて、出資、合弁、技術提携などに関心のある企業があれば商談を希望する。



施工プラント

EPH01

ベルデ・リニューアブルズ

Berde Renewables Inc.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] パシッグ
 [他事務所] シンガポール
 [HP] <https://berderenewables.com/>



ソーラー設置事例



PV cables



XLPE cables

調達希望のケーブル例



調達希望のレール例

- 設立年 : 2023年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 7億5000万円
- 事業内容 : ソーラー発電設備エンジニアリングサービス業
- 主要製品 : ソーラー光発電設備の設計、設置、メンテナンス
- 取引先 : 製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

エネルギーや通信関連の独立系グローバルインフラ投資企業であるIsquared Capitalによる出資企業。フィリピン国内で40のソーラー発電プロジェクトを進めており、これまでの総発電量は400万kWhを超える。同キャピタルは日本にも出資しており、Hexa Japan社を設立してシステムを構築中。24年3月時点で約100MWが計画されており、うち約15MWが24年第2四半期までに稼働開始予定。当商談会では、ソーラー発電システム用のケーブルやレール部品の調達を中心としつつ、販路拡大に向けたパートナーシップ構築をテーマに商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

ソーラー発電システムの設置にあたり必要なケーブルとレールの調達を希望。概ね5MW以上の発電に向けて必要になる数量に対して商談したい。具体的には、PV ケーブル - 6mm²、1500Vdc以上のもの、AC ケーブル - あらゆるサイズ (THHN、XLPE、ACSR、海底ケーブル)、ルーフマウントシステム (あらゆる種類)、地上設置システム (スクリューパイルタイプとノンスクリューパイルタイプ) となる。現在は中国から資材を輸入しており、価格や性能の優位性について提案が求められる。また上記の資材はフィリピンでの輸入を想定している。

EPH02

アルファソーラー

ALPHASOLAR, INC.

[参加予定者] 取締役
 [本社] サンフェルナンド市
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.alphasolarinc.com>



San Miguel Foods Plant

太陽光パネル施工実績

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 652万円
- 従業員数 : 32名
- 売上高 : 1億800万円
- 事業内容 : ソーラー発電設備の設計・設置
- 主要製品 : ソーラー発電設備
- 取引先 : 工業団地、企業、一般家庭
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

2019年に太陽光発電に関するコンサルティング会社として創業。ベルギーの太陽光発電事業者との協働で、フィリピンの大規模経済特区内で初となる太陽光発電所を設置するなど、急速に事業を軌道に乗せつつある。現在まで一般住宅、商業施設、企業に向けて多くの太陽光発電設備を設計・導入してきた。日本企業との商談目的は2つ。1つは新規事業として計画している環境配慮型プロダクト（電気自動車、電気自動車用充電設備、モジュール式住居）のフィリピン市場への展開と、もう1つは太陽光システムの販路拡大に向けた資金面を中心とした協力体制の構築である。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

フィリピンで需要が拡大している環境配慮型のプロダクトについての商談に関心を持つ。新たな事業領域として電気自動車（EV）、EV用充電器・充電設備、また既存事業のうちモジュール式住居の市場開拓を計画しており、フィリピン国内での正規代理店となることを希望。新規事業で時間がかかるかもしれないが、太陽光事業において培った顧客とのネットワークを活用して販路開拓できると考えており、協力形態や商流について協議したい。

■ 合弁会社の設立

現在は中国製の太陽光システム（パネル、インバーター、バッテリー）を採用しており、日本企業に対する製品、パーツ、メンテナンス等のニーズは小さい。一方で、今後の新たな太陽光システム設置プロジェクトに対し日本から製品・メンテナンスの供給と資金拠出を合わせた包括的な協力関係が提案可能であれば商談につながり得る。目安として1プロジェクト当たり概ね1000万～3000万ドルの投資となり、その30%を目途に日本企業から拠出する形であれば、協業・合弁の可能性はある。



スマートホームのイメージ

EPH03

ALC ホールディングス

ALC Holdings Co. Inc.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ケソン

[他事務所] ー

[HP] <https://alcholdings.com.ph/>

下水処理場用の発電設備の工事

- 設立年 : 2002年
- 資本金 : 3000万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 7500万円
- 事業内容 : 商社
- 主要製品 : 通信機器、建材、食品等
- 取引先 : 通信、メディア等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

ウェルネス、健康、教育、環境、生活の5つの柱としつつ、傘下の4企業で通信機器の卸、建築資材の輸入、食品輸出入などの幅広い事業を手掛ける。日本からの革新的なハイエンド製品の購入や共同開発に関心が高く、短期的にはフィリピンに支店や子会社を設立して販売し、将来的なスペアパーツやコンポーネントの組立及び生産ラインの設置に向けた提携を希望。

先端産業や環境産業で幅広い取り扱いニーズがあるが、本商談会では環境関連のニーズに限定し、再生エネルギー、建設材料、EVに限定する。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

子会社のAsiatrend Marketing Inc. は、27年間にわたり通信 (有線・無線)、放送、ICT、電力業界の製品を国内に供給してきており、取扱製品の拡大を模索している。再生可能エネルギー、省エネ機器類に関連する下記製品の取り扱いを希望する。フィリピンには無い革新的な製品を取り扱いたく、日本のハイエンド製品を歓迎。具体的には、太陽光、風力、ハイブリッドを利用した再生可能エネルギーシステムの調達、プラスチック、ゴム、木材などの廃棄物から生産される材料を使用した環境に優しいプレハブ技術 (住宅、学校、建物、道路舗装またはインフラ用) の調達、充電ステーションを含むEVの調達となる。また、これらについて共同開発することや、フィリピン市場への展開にあたり、将来的な子会社設置や現地フル生産の可能性も含めて商談できると更に良いと考える。



当社倉庫スペース

EID01

シナール・ドゥイ・チプタ

PT Sinar Dwi Cipta

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ジャカルタ

[他事務所] ー

[HP] <https://www.sinardwicipta.com/>

調達希望製品の一例① 食品ディスポーザー



調達希望製品の一例② 農業用環境測定センサー

- 設立年 : 2023年
- 資本金 : 500万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 900万円
- 事業内容 : 各種製品卸売業
- 主要製品 : ソーラー、環境関連機器
- 取引先 : 小売店、民間企業等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

社長は、本事業開始まではオフィス製品を扱う販売代理店で電子商取引・オフライン小売事業部門の営業ディレクターを歴任。その知見とネットワークを活かして太陽光発電事業を開始し、太陽光パネルの清掃やメンテナンスなど、周辺事業にも事業展開を進めている。

民間企業や政府機関を対象として販売する各種製品の調達を希望しており、環境測定センサーやパネル清掃用品などの調達や、環境をテーマとしたハイエンド・ミドルエンド製品の販売代理店としての機能を果たすべく、日本の製造業・商社との商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

購入希望商品は多岐に亘る。創業間もないため事業規模も小さく取り扱い製品を選定している段階だが、日本製のハイエンドやミドルエンドの製品に関心が高い。1回あたりの仕入金額は上限20万ドルを想定。メーカーだけでなく商社からの提案も期待している。太陽光パネルの保守に関連するものとして、清掃用品や汚れ具合を検知するセンサーカメラ、その他の太陽光パネル事業に関連する消耗品や装置類の調達を希望する。ドローン技術を使った検査システムやモニタリングシステムなども調達の対象とする。なお、それぞれ完成品が調達対象となるため、部品のみでの調達は想定していない。環境センシングに関連するものとして、大気や水質の測定、農業用途の環境測定に利用されるセンサー機器の調達を検討している。家庭用廃棄物処理に関連して、生ごみからたい肥を作る一般向けディスポーザーの調達を検討している。

■ 代理店契約・日本製品の販売

上記の製品取り扱いにあたり、代理店契約の締結も条件次第では検討したい。

EIN03

CTR マニファクチャリング・インダストリーズ

CTR Manufacturing Industries Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] プネー（マハラシュトラ州）
 [他事務所] ニューデリー、ムンバイなどインド10都市
 [HP] <https://ctr.in/>



変圧器爆発防止システム



製造工場の1つ

- 設立年 : 1964年
- 資本金 : 3225万円
- 従業員数 : 1,200名
- 売上高 : 97億5000万円
- 事業内容 : 産業機器製造業
- 主要製品 : 変圧器保護・予防システム、
負荷時タップ切換装置など
- 取引先 : 国営公益事業会社、配電会社、
大規模設備を有する民間企業等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、IEC等
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は7年以上の伝統を持つ、インドのプネー、オーランガバード、ナシックに製造施設を持つ企業である。全国にマーケティングや保守拠点を有し、世界中に提携先を持つエンジニアリング製品製造を主業としている。当社は製品の製造だけでなく、R&DセンターとISO準拠の製造工場を所有し、600人以上のエンジニアとともに技術革新や研究開発を進めている。主要顧客は大手製造業と電力会社となる。過去数年間の売上高の年平均成長率は15~20%超である。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵、水素エネルギー、エネルギー効率、電力品質、デジタル化への一般的な傾向を考慮し、同業界やユーティリティアプリケーションに役立つ製品を幅広く求めている。インド主要都市に展開する営業拠点により独自のサービスネットワークを備えている。また、中東、東南アジア、南米の国々にも輸出を行っている。本商談会では、日本企業との専属代理店契約を希望している。

■ 合併会社の設立

当社は安定利益を確保しキャッシュフロー豊富な会社であるため、年間200万ドル以上を市場の新しい機会に投資する能力を有している。エネルギー領域で事業展開する日本企業と、あらゆる可能性について話したいと考えている。設立した合併企業の販売先として、インド国内に加え第三国への輸出も想定している。また、日本企業がインドや第三国で進出するために必要な様々な種類のサポートも提供する予定。

■ 共同開発・技術提携

当社の課題は、再生可能エネルギーの最新動向に沿ったエネルギー分野の新製品を追加することである。日本企業の専門知識と技術ノウハウにより、市場投入できる製品を新たに開発したいと考えている。提携範囲は、現地の要件に応じて大量生産と改良を行う予定。当社の製造能力として、インド国内3か所に製品開発および製造チームを有している。

EIN04

アトマ・オートテック・エンジニアーズ

AtMa Autotech Engineers Pvt. Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] マーネーサル (ハリヤーナー州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.atmaautotech.com/>

[会社概要]

当社は、マーネーサル市のIMTと呼ばれる最先端インフラを備えた工業団地に立地する、自動車向け特殊用途機械の開発・製造業者である。より高速、効率的かつ一貫したワークフローが要求される、様々なアプリケーション向けのコンセプト開発、機械設計、ロボティックプロセスオートメーション開発を行っている。当社の独自のソリューションは、世界的な組織から業界最高の賞を受賞している。さらに、プラスチック部門と制御ケーブル部門では、商用車およびティア1自動車セグメントにもサービスを提供している。販売成績は、コロナ禍を除けば、過去5年間でインド国内売上は24~28%の成長率を維持している。

- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 300名
- 売上高 : 13億2000万円
- 事業内容 : 特殊用途機械製造業
- 主要製品 : 自動車向け特殊用途機械、ソフトウェア、部品等
- 取引先 : 自動車業界のメーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO16949、IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

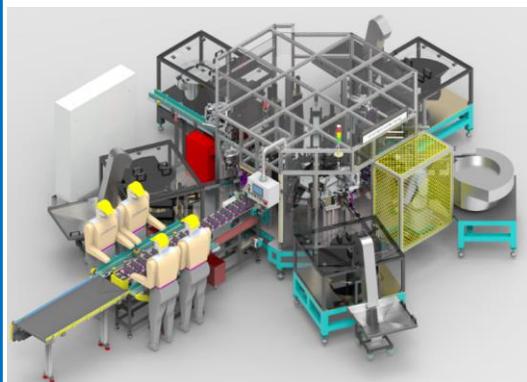
商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

機械の完成品を開発製造するための標準ハードウェア調達を予定している。そこで、特殊用途の工業製品、プロセスセンサー、制御機器、熱風発生器、電磁クラッチおよびブレーキ、コントローラ、産業用掃除機を提供可能な日本企業を探している。新製品の製造ラインに用いる予定で、製品構成で多少の変動はあるが、SKUは7万5千円~75万円、年間数量は100から1000ユニットを想定し、独占契約を希望する。

■ 合併会社の設立

東南アジアと欧州での事業拡大を目的に、同地域で日本企業の受入れ度が高いことから、EV車両部品に携わる日本企業との合併会社を設立したい。出資は、日本企業、当社ともに3750万円を想定している。設立場所はインドで、ターゲット市場は東南アジア、欧州、中東を想定している。日本企業には、同じ品質基準に従って生産に付加価値をもたらし、これらの市場に迅速に到達し、製品コストを節約できる利点がある。



製品組立を自動で行う
ロボットプロセス
オートメーションマシン



インサート成形部品、
レンズ部品、金属化用の
成形部品、配線ハーネス

ETH01

サンコー・ダイカスティング (タイランド)

Sanko Diecasting (Thailand) Public Company Limited.

[参加予定者] 取締役

[本社] ラヨン

[他事務所] 日本

[HP] <https://www.sankothai.net/index/>

製造部品1



製造部品2



製造部品3

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 64億5000万円
- 従業員数 : 400名
- 売上高 : 31億5000万円
- 事業内容 : 金属部品製造
- 主要製品 : 自動車用ダイキャスト部品
- 取引先 : 自動車メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、14001、50001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

アルミニウムや亜鉛からダイキャスト工程で自動車部品や電子部品を製造。主製品は自動車用エンジン、ヘッドランプヒートシンク、ファンクラッチ、コンプレッサ、オーディオヒートシンク向けの金属部品。その他にも二輪車向け、農業機械向け、家電向けの金属部品も製造。出資比率の関係から日本本社から独立した決定権限を持つ。

本商談会では、気候変動への対応やESG経営の観点から自社の加工設備の環境対応を更に進めるべく、環境フレンドリーな加工設備の調達や代替エネルギーの活用に日本企業との商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

自社工場で利用する設備を環境に優しくエネルギー効率の良いものに更新することを検討中。例としては、天然ガス漏洩検知器を搭載したエネルギー効率が高く環境に優しい合金溶解炉のシステム（溶解炉の能力は500-80kg/hrを想定）、空気の質を維持しエネルギーを節約するための空気中に飛散する金属粉塵を除去する設備、炉の操作をシミュレーションできるようなソフトウェアがある。設備メーカーだけでなく商社との商談も可。またタイ現地で拠点は無くとも日本国内からの輸入も可。上記のニーズには技術的なサポートや部品調達などのアフターサービスも含まれる。

EIN05

UHP テクノロジーズ

UHP Technologies Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)
 [他事務所] -
 [HP] <https://www.uhptech.com>



ガスキャビネット

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : 5億2500万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 26億2500万円
- 事業内容 : 半導体、太陽光発電向けEPC業
- 主要製品 : クリーンルーム、ビル・ガス
マネジメントシステム
- 取引先 : 太陽電池、半導体製造メー
カー、大学等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

主にクリーンルームの設計、建設、検証、超高純度のガス及び化学品供給システムのセットアップに関するエンジニアリングソリューションを提供する企業である。クリーンルーム関連のサービス領域には、HVACの設計やエンジニアリングの他、電力供給と配電の設計、バッテリーマネージメントサービスを含んでいる。また超高純度のガス及び化学用途向け領域では、ガスキャビネット、ガス供給パネルの他、バルブマニホールドボックスやバルブマニホールドパネル、ガス清浄器、ガス及び化学物質管理システムなども手掛けている。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

光ファイバー、太陽電池、半導体の研究開発分野の産業はインド市場において今後急拡大することが見込まれるが、これらの産業向けに高度なコンポーネント、システム、消耗品、特に有機金属、フォトレジスト、エンジニアリング部品を取扱うことで事業拡大を検討していることから、これら製品やサービスを取り扱う日本企業との商談を望んでいる。

■ 合併会社の設立

半導体、太陽光、宇宙、バイオ医薬品、光ファイバー産業分野での更なる成長を目論んでいる。そのために当社よりも事業規模が大きく、グローバル企業との協業経験を持つ日本企業との合併会社設立に関心を持っている。合併会社の事業範囲は製造と事業開発を想定している。当社と協業する日本企業には日本のビジネスニーズを低コストで最適にサポートする体制を提供可能である。

■ 共同開発・技術提携

半導体分野におけるクリーンルームやAPCVD、LPCVD、PECVD、MOCVD等の蒸着ツールに関する共同開発、技術提携を望んでいる。現在、半導体装置メーカー向けにクラス100のクリーンルームを設置し、ガスボックスシステムの組立を実施しているが、日本企業との協業により完全なシステムへと発展させたい。17



クリーンルーム

EVN01

VEC エナジー

VEC ENERGY JSC

[参加予定者] 販売部長

[本社] ハノイ

[他事務所] ー

[HP] <http://vecenergy.com.vn>

自動電圧制御装置



無停電電源装置

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 1億4200万円
- 従業員数 : 15名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : 電力制御関連商品製造・販売
- 主要製品 : バッテリー、電圧コントローラー、高調波フィルター等
- 取引先 : 製造業・小売業全般、ヘルスケア関連
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はもともとは建設・土木関係を手掛けるVecellio Groupのエネルギー部門が独立し設立された企業にて、ベトナム国内工場から主に供給電力・電圧安定のための機器並びにサービスをグローバルベースで提供している。主な取り扱い商品はUPS（無停電電源装置）、電圧コントローラー、高調波フィルター。質の高いスタッフも含め、品質、高性能、信頼性、メンテナンスも含めた簡易性が売りで、顧客のコストの安定化、最適化に貢献している。イオンモールへの製品・サービス提供といった日本企業との取引実績もある。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社の商品は工場やビルにも納入されているが、1億人を超えるベトナムの人口を鑑みるとヘルスケア分野への参入を狙いたいと考えている。当社の調査では、ノイズが病院の超音波装置の検査結果を劣化させていると認識。この問題を解決して、医者が的確かつ迅速に判断できるよう、病院に納入可能なノイズフィルター・ノイズリムーバーの購入を検討したい。もちろん、病院のみならず、工場やビルで使用できる商品でも構わない。販売先は当社の既存顧客を考えている。

■ 代理店契約・日本製品の販売

上記のような単に日本製品の販売だけでなく、代理店契約を締結し、継続的な取引も希望する。特に取り扱い希望商品は、ノイズフィルター、高調波フィルターにて病院、工場、ビルでの使用を念頭においている。当社は十分にトレーニングされた6名のエンジニアを抱えていること、顧客基盤も強固にて販売ネットワークが確立されていることが強み。UPS、バッテリー、電圧コントローラーといった当社が取り扱いたい商品以外でも、新商品、新しいソリューションがあれば是非提案してほしい。

EIN06

シャイリ・エンタープライゼズ

Shaili Enterprises

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ジャムシェードプル (ジャールカンド州)
 [他事務所] -
 [HP] -



ポンプシステム

- 設立年 : 2017年
- 資本金 : 600万円
- 従業員数 : 8名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : 工業用バルブ、ポンプの販売、サービス
- 主要製品 : 工業用バルブ、ポンプ
- 取引先 : 鉄鋼、電力、鋳業、セメント、自動車部品業界
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

産業用バルブ、ポンプを主に取り扱い、販売からメンテナンスまでを行うサービス会社。鉄鋼、電力、鋳業、上水道事業、セメント、自動車関連の工場にて使用するあらゆるバルブ、ポンプが対象で、主に工業用水用となる。水中ポンプはスラリー用途に限られ、ギアポンプは取り扱っていない。また、家庭用の上水道事業は兄弟会社が専門であり当社では取り扱わない。自社スペースで修繕、点検等を実施していて、流体ソリューションの専門業者として、多くのハードメーカーとの契約に基づき、販売、部品供給、メンテナンスサービスを顧客工場に提供しているもの。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

工業用水用のバルブ、ポンプの販売からサービスまでを提供しているが、同地区にて新たに商売展開したいバルブ、ポンプメーカーの代理店として取り扱いを拡大したい。同州の鉄鋼、電力、鋳業、セメント、自動車部品等の産業分野、上水道事業者が顧客となっており、メーカー代理店として販売、部品供給、修繕、点検まで実施できる。新規事業として省エネ関連事業にも興味があり、上記産業顧客向けの省エネ機器販売、サービス展開も手掛けてみたい。



バルブ、ポンプ各種

EHK01

AEL (インターナショナルホールディングス) AEL (INTERNATIONAL HOLDINGS) LTED

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 香港
[他事務所] ー
[HP] <https://www.aelintl.hk/>



当社保有リサイクル機器

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 1300万円
- 従業員数 : 14名
- 売上高 : 1億5000万円
- 事業内容 : 廃棄物リサイクル
- 主要製品 : 食品廃棄物処理、再生可能エネルギー関連製品
- 取引先 : 政府、小売店、不動産開発業者
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、香港のサイエンス&テクノロジーパークに事務所をもつ、Associated Engineeringから分離独立した企業。化石燃料から再生可能エネルギーへの移行を支援しており、現在特に生ごみをエネルギーやその他貴重な資源に変換する研究開発に力をいれている。香港生産性協議会並びに中国南方農業大学と協力し、臭気除去を目的とした生ごみ処理のための嫌気性消化技術を開発、生ごみ処理に関する特許も取得している。特に2014年以降は、排出物ゼロ、従来の嫌気性消化システムより50%多いエネルギー、3分の1の処理時間とする画期的なソリューション開発を手掛けてきた。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本企業から廃棄食物リサイクル関連機器を購入したい。例えば臭気をコントロールする機器またはシステム、あるいはプラスチックバッグ内の廃棄食物を分離する機器またはシステム。これらの製品あるいはシステムを、自社活用ではなく、当社が顧客に提供するトータルソリューションに組み入れたいと思っている。一方で、例えばバクテリア、あるいは消臭に関する原材料については、当社として継続的に購入することも検討可能。

■ 共同開発・技術提携

技術、ソリューションを提供頂ける製造企業との技術提携を検討したい。日本は、バイオテクノロジー技術で、他国より進んでいると了解しており、例えばEMバクテリアのように廃棄食物を個体から液体にする技術に関心あり。また、すでにヨーロッパでは一般的になっている、廃棄食物からプロテインを抽出しペットフードにする技術にも興味あり。更に提携の方法として合併の設立も検討可能、50:50の出資比率を原則とするも、最終的には日本企業と議論して決めたい。



当社保有リサイクル機器

EIN07

TMS テクノブ・エム・システムズ

TMS TECHNOV M SYSTEMS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] チェンナイ (タミルナードゥ州)
 [他事務所] -
 [HP] <https://www.technovmsystems.com>



塗装工場



塗装工場



ガスタービン

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 200万円
- 従業員数 : 9名
- 売上高 : 3400万円
- 事業内容 : グリーンテック実装
- 主要製品 : 磁気共鳴技術、アプリ開発
- 取引先 : 自動車、重工業、鉄鋼、石油
化学メーカー、石油ガス製油所
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドで最も革新的な企業トップ50としてイノベーション賞の受賞経験を有し、最新の革新技術とその実装を通じて製造業のビジネスプロセスを革新し、効率化と競争力を高めることを目指すグリーンテック企業である。主なサービスは気体または液体の炭化水素を燃焼させて熱を生成する工場設備向けの磁気共鳴技術の実装であり、主に塗装工場の熱処理炉、ガスタービンやボイラーに使用されている。その他、実用性をリアルタイムで測定する「Utility Value Evaluator」と呼ばれるコスト管理アプリの開発を行っている。インドの日系自動車メーカーを中心に納入実績を有し、燃料消費量、二酸化炭素排出量の削減に大きく貢献している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

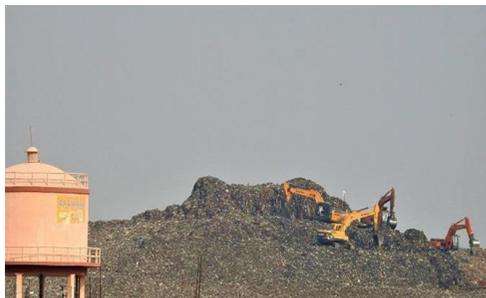
環境汚染防止技術、燃焼改善システム、環境汚染制御技術、AIベースの汚染レベルを警告する予測システムなど、当社が保有する既存の製品ラインアップ、環境汚染制御技術を補完できる関連ソフトウェアの取扱いに興味を持っている。具体的には、カスタマイズ可能な予測メンテナンス用ソフトウェア、工場全体の無駄を監視する製品ソフトウェア、工場内モビリティソリューション、メインコンソールに接続されたインターネット対応センサーを備えたプロセス値とのギャップ分析システム、塗装工場用のガス質量流量計、熱処理ユニット、補助小型EVおよびソーラーストレージなどに高い関心を持っている。

EIN08

リ・サステナビリティ

Re SUSTAINABILITY LIMITED

[参加予定者] 部長
 [本社] ハイデラバード
 [他事務所] 各国に85カ所以上
 [HP] <https://resustainability.com/>



ごみ処理・リサイクル施設
 (ハイデラバード)

- 設立年 : 1984年
- 資本金 : 1073億円
- 従業員数 : 18,000名
- 売上高 : 755億円
- 事業内容 : ごみ処理・環境対策事業
- 主要製品 : 廃棄物処理、水処理、再利用品
- 取引先 : 各種企業、地方公共団体等
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001, ISO18001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インド最大規模のごみ処理その他環境対策サービス提供企業であり、インド国内にとどまらず世界各地で事業を展開している。事業の対象としては、地域のごみ処理、産業廃棄物処理、医療バイオ廃棄物処理、土地や海洋の汚染対策、水処理、紙ごみやプラスチックごみのリサイクル等多岐におよび、サステナビリティのバリューチェーン全体をカバーする総合的・包括的な環境対策ソリューションを提供することが可能である。インド全国の他、中東アフリカや北米等においても事業展開しており、全世界で各種企業や団体等の10,000を超える顧客の環境対策パートナーとして長期的に貢献してきている。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社は水処理（浄水・廃水）関連設備の設計建設（EPC）および維持運営（O&M）を手掛けており、それら事業において活用する効率の良い機器設備の調達を検討している。特に関心があるのは、高TDS、高オキシジェン濃度の廃水の処理、汚泥の脱水、乾燥や汚泥からの資源回収に必要な機器設備である。また、汚泥による発電の可能性にも関心がある。

■ 合併会社の設立

産業廃棄物や廃水の処理・リサイクルやそれらを活用した発電等のプロジェクトを、当社との合併により実施していただけるパートナーを探索している。当社は世界の約10か国でそのようなプロジェクトを実施しており、したがって合併事業の実施場所もインド国内とは限らない。

■ 共同開発・技術提携

汚染された土地やごみ処分場、河川、湖等の浄化に必要な技術や知見経験を持つ日本企業との技術提携を検討している。具体的には、そうした土地等の現地調査、汚染除去、回復計画の策定及び実施に関わる技術や知見、そのために必要な設備機器等を求めているところであり、また産業廃棄物、汚泥等からの資源回収やエネルギー回収のための技術にも関心がある。

アルミ精錬工場の廃水処理・再生施設（オリッサ州）



EPH04

マクロエイジア・コーポレーション

MacroAsia Corporation (MAC)

[参加予定者] 取締役

[本社] マカティ

[他事務所] ー

[HP] <https://macroasiacorp.com/>

空港からの排水を回収・再生処理する施設（メトロマニラ地域）

- 設立年 : 1970年
- 資本金 : 52億円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 212億円
- 事業内容 : 航空関連サービス事業、水処理関連事業
- 主要製品 : 機内食ケータリング、空港地上支援、浄水及び排水処理
- 取引先 : 航空会社等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有（航空関連サービス事業のみ）

[会社概要]

フィリピンにおいて、機内食ケータリング、空港地上支援および機体整備等を手掛ける、大手航空関連サービス企業。併せて、浄水及び排水処理等の水処理関連事業も手掛ける。企業グループとしての主なビジネスは機内食ケータリングをはじめとした食品関連事業であり、それらが売上の約半分を占める。

水処理関連事業は現時点でビジネス全体の約1割程度であるが、年々成長を続けており、当社にとって新たな柱のひとつとなりつつある。住居エリアから商業地域、工業地域まで幅広く、浄水処理、給配水及び排水処理を手掛けており、今後は水力発電や太陽光発電等のサステナブル、再生可能エネルギーの分野にも参入を検討している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

次の項目について日本企業との連携、協業に向けた商談を行いたい。1つ目は水処理関連事業となる。浄水処理及び排水処置等について、日本の進んだ技術やプロセス、設備機器を導入したいと考えており、そのために日本企業との協業、連携を検討している。協業の形態としては、契約ベースでの技術支援、技術提携から、合併によるプロジェクトベースでの事業展開まで、内容により様々であり得るものと考えている。

2つ目は、再生可能エネルギー関連（水力発電、太陽光発電）となる。再生可能エネルギー、特に水力発電及び太陽光発電の分野への今後の新規参入を検討しているところであり、参入にあたっては日本からの技術や設備機器の導入もあり得るものと考えている。当該分野において優れた技術、ソリューションや設備機器を有する日本企業との商談を希望する。



浄水・給配水施設（ヌエヴァ・ヴィスカヤ州、ルソン島）

ETH02

タイ・エネルギー・コンサベーション

Thai Energy Conservation Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] スパンブリー

[他事務所] バンコク

[HP] <https://econowatt.co.th/en/home/>

- The "one end free structure" enables suspended solids (SS) removal easy without accumulating between hollow fibers.
- By feeding air and water from the "center distributor" located at the center of the element, effective clearing of the hollow fibers can be achieved.

ウルトラフィルター

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 80名
- 売上高 : 3億7500万円
- 事業内容 : 水処理業
- 主要製品 : オゾン水消毒、廃水処理、リサイクル水処理
- 取引先 : 商業ビル、病院、都市水処理
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

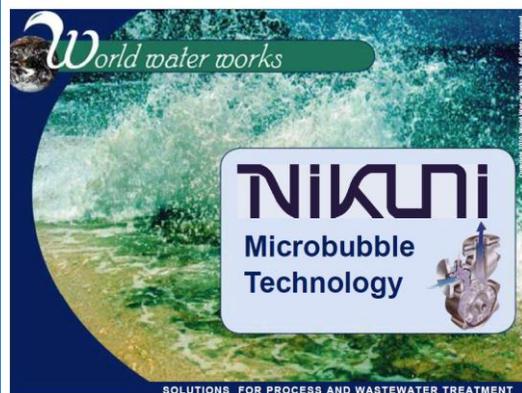
[会社概要]

当社は、タイの省エネソリューションおよび水処理の大手メーカーおよびプロバイダーとなる。1970年に設立されたバンコクの磁気バラスト工場を拡張し、会社設立した。ビジョンは、省エネと持続可能な環境保護のための革新的な製品、サービス、ソリューションで水処理のビジネスリーダーになることである。チラーシステム、RO水システム、リサイクル水、廃水処理システムなど、さまざまな製品と実績のある設備を備えている。タイ商工会議所のビジネス倫理賞、タイ工業連盟の優れたESCO賞を7年連続受賞、工業省から首相産業賞を5年連続受賞など、有名な機関から多くの賞を受賞している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

百貨店や複合商業ビルなど、当社顧客のTDS（総溶解固形分）削減ニーズを満たす水処理製品を探している。水処理は、リサイクル水、廃水、プール水、飲料水などとなる。建物用水および水道用水の水処理および水質改善プロセスの技術を活かした日本製品を探している。仕様は、RO（逆浸透膜）水ではないものを希望する。価格は、42.8円 /m³まで許容できる。新製品として、日本企業と合意できれば商談後すぐに調達し、エンドユーザーに販売を希望する。最近では、マイクロバブルポンプやオンライン監視システムなど日本の製品や部品を使用しており、日本製に対する信頼を持っている。



マイクロバブルポンプ

EMA03

ペルス・ハイドロ

Pelus Hidro Sdn Bhd

[参加予定者] 財務部長
 [本社] セランゴール
 [他事務所] ー
 [HP] <http://www.wetsb.com/>

[会社概要]

当社は1980年に設立された、マレーシアにおけるEPCC請負企業。上下水道インフラ業界で40年以上の経験をもつ当社は、取水口、水処理プラント、下水処理場、ポンプ場に関し設計、供給、設置、試運転に至るまでの機械・電気関連ソリューションを提供、更にはこれらの施設の改修、修繕、運営、保守も対応が可能。当社は14MWと24.4MWの2か所の水力発電につき、政府から運営委託をうけるいわゆるコンセッション事業にも参入した。再生可能エネルギー事業拡大を狙い、日本企業との提携を実現したく商談会に参加する。

- 設立年 : 1980年
- 資本金 : 3億円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 19億5000万円
- 事業内容 : EPCC請負
- 主要製品 : 水処理プラント
- 取引先 : マレーシア政府
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有



排水処理ポンプ

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社は上述の電力発電以外にも、すでに大規模の太陽光発電事業にも参入すべく取り組んでいるが、これに加え再生可能エネルギー、具体的には水素エネルギー、風力発電、潮力発電、BESS (Battery Energy Storage System) 事業への参入を試みたい。これらの分野で新技術、実績があり、マレーシアでの事業を進めたい日本企業と是非提携を検討したい。新しい分野でも、ビジネスモデルについては当社の強みであるEPCC請負を考えている。なお、提携の方法として合併設立も検討可能。



排水処理場

EMA04

アイケム・ソリューション

I-CHEM SOLUTION SDN BHD

[参加予定者] 代表取締役

[本社] プジョン

[他事務所] クアンタン、イポー

[HP] <https://www.i-chemsolution.com/>

自社工場の正面玄関

- 設立年 : 2006年
- 資本金 : 2400万円
- 従業員数 : 60名
- 売上高 : 9億6000万円
- 事業内容 : 工業用水処理業
- 主要製品 : 水処理薬品、イオン交換樹脂、工業用水処理特殊化学薬品
- 取引先 : パーム油工場、食品・飲料、自動車、電子機器メーカー
- 国際認証 : ISO9001、NSFインターナショナル認証
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、水管理分野における環境重視の企業で、ドイツの多国籍企業を経営陣が買収した後、2006年に化学者とエンジニアによって設立された。原水処理、廃水処理、ボイラーシステム水管理、冷却塔水管理などの専門分野で顧客満足を確認している。水処理と管理に関して州環境局が定めた基準に顧客が準拠できるよう支援してきた。当社の強みは、顧客のニーズに応じて問題解決者となるための技術的ノウハウ、スキルを備えた有能なエンジニアと化学者からなる強力なコアチーム、顧客満足を通じて事業継続を保証する優れたサービスを提供する強いコミットメントにある。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

ASEAN地域における事業拡大と、同地域にある日本企業が所有する工場への進出のため、販売と生産を担う合併会社設立を希望する。合併会社は小規模に始め、初期投資額は10万～20万米ドル、出資比率は日本企業：当社＝51%：49%を考えている。場所は、マレーシアで、現在の所在地の近くが望ましい。強みである当社の事業運営方法と現在の体制は、日本企業にとってメリットになると考えている。

■ 共同開発・技術提携

食品飲料業界及びパーム油関連業界向けの化学的および生物学的な廃水処理における日本の水処理会社との共同開発及び技術協力を求めている。当社は、同分野で強力な応用技術研究を行っている。共同開発、技術提携のために30万～50万米ドルの予算を用意し、6人のチーム（技術ディレクター、技術エンジニア、ラボスタッフ4人）がいる。ターゲット市場は、マレーシア、インドネシア、タイなどのASEAN市場向けの食品飲料及びパームオイル産業となる。日本企業は迅速にASEAN市場へ進出することができる。



POME処理後の成果物

EMA05

アクメ・ケミカルズ (マレーシア)

Acme Chemicals (Malaysia) Sdn. Bhd

[参加予定者] 取締役
 [本社] ポートクラング
 [他事務所] パハン

[HP] <https://www.acmechem.com.my/>



当社工場

- 設立年 : 1993年
- 資本金 : 8000万円
- 従業員数 : 33名
- 売上高 : 8億2500万円
- 事業内容 : 製造業、ソリューションプロバイダー
- 主要製品 : 廃水処理、水リサイクル
- 取引先 : 石油ガス関連企業
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、1993年にマレーシアの化学品販売会社である Acme Chemical Pte.Ltd.の完全子会社として設立された。2012年にマレーシア政策の一環でブミプテラ企業に買収され、石油・ガス業界に水処理を中心にサービスを提供する企業に転換、更にその後石油・ガス市場の低迷を受け、産業用水処理分野において、ESG対応を考慮したソリューションプロバイダーとしての事業展開に軸足をおくこととした。当社は独自の特許と化学プロセスを活用し、廃水処理と水資源削減の提案を強みとしている。今回の商談会による日本企業との提携により、水処理の新技术導入と市場開拓を図りたい。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本企業との合併設立を検討したい。特に廃水処理事業及び水のリサイクルプラント運営の経験をもち、また海外での事業経験、特にアジア諸国との関係が深い企業との提携を希望する。当社の強みは、マレーシアにおける廃水処理と水リサイクル事業の実績、廃水処理に関する特許、研究者の資質。資本金は10万ドルから始めることを考えている。またmajority取得には固執せず、出資比率は日本企業との議論を通し決めていきたい。

■ 共同開発・技術提携

上述合併会社設立の提携目的と同様、廃水処理及び水のリサイクルに関し、現在当社が保有する技術を向上させることができる、日本企業との技術連携を希望する。また、提携企業からは当社プラントの効率化を目的としたIOT技術の導入、あるいはいわゆる水の品質をモニターするソフトウェアの支援も期待したい。また、提携技術を活用し、インドあるいはインドネシアに事業を拡大することも考えている。



廃水処理機器

ETW02

フェンリ

Fenri Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] 新北市
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.fenri.com.tw>



- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 7500万円
- 従業員数 : 32名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : 水質モニタリング機器製造販売
- 主要製品 : 水質モニタリング機器
- 取引先 : 地方自治体、半導体、食品等、製造会社
- 国際認証 : ISO14064
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は主に工業廃水、下水を中心に出口管理を中心とした水質モニタリング、異常値検知システムを構築している。下水処理の公営施設、半導体、食品・飲料、電子、酪農から学校まで、諸施設から出る一次処理された排水の水質レベルをモニタリングし、管理を実施するシステムを提供している。PH、温度、COD等の多くのデータをリアルタイムで分析処理し、早期警戒システムとして運用される場合が多い。色々なセンサーからのクラウドデータが排水監視を実施するシステムに繋がり、異常値が発生するとリアルタイムで関係者に通知することが出来る製品を展開している。

水質モニタリング装置

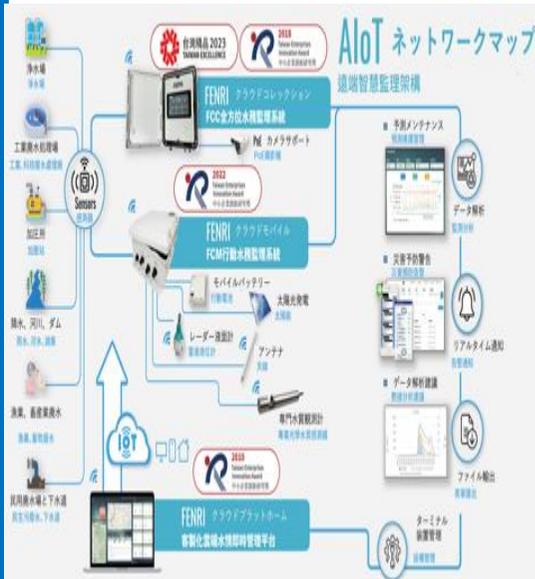
商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

排水、下水関連施設における水質モニタリングセンサー、関係電子機器、監視モニター等の最先端機器に興味がある。またそれら装置をネットワーク化し、自動監視、早期警戒システムとして運用可能とするエンジニア（SE）も必要。水の透明度、電気伝導率、水質汚濁等の異常値を感知して、化学分析まで自動化して早期警戒システムとして運用しているが、同システムの効率化、自動化に資するあらゆる電子機器、インテグレーションへのノウハウに興味があり、導入を検討している。

■ 共同開発・技術提携

国連SDGs目標6、「安全な水とトイレを世界中に」を合言葉に、水に関わる持続可能性、循環利用に関わる協業が出来ると良い。上記排水監視システムをあらゆる産業排水に適用できる様にするための技術提携、共同開発を日本の関連企業と行いたい。日本の最先端センサー、電子機器を利用して、AIによる自動化、HMI等をアップグレードしたいと考えている。



モニタリングシステム図

EIN09

エンバイロ・ケア・インディア

Enviro Care India Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] マドゥライ (タミル・ナードゥ州)
 [他事務所] チェンナイ (タミル・ナードゥ州) 等
 [HP] <https://envirocareindia.com/>



ゼロ液体排出 (ZLD、廃水を外に放出せずに処理する技術) 方式によるプラント

- 設立年 : 2004年
- 資本金 : 45億円
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 3億7500万円
- 事業内容 : 環境関連サービス業
- 主要製品 : 環境影響評価、水処理・大気汚染・廃棄物処理関連ソリューションの提供
- 取引先 : 各種製造業、商業施設、病院、建設会社等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO17025
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

水質汚染、大気汚染、騒音、廃棄物等、幅広い分野での環境影響評価やコンサルタンシー、また水処理を中心に環境エンジニアリングによる各種ソリューションを提供する企業。インド都市開発省の認定機関である。主として南インド (タミル・ナードゥ州) において事業展開しており、750を超える顧客を持つ。長年にわたり積み重ねてきた知見経験と専門知識を持つ多くのプロフェッショナルにより、顧客ニーズに応じた最適なサービスとソリューションを提供している。水処理については、産業 (工場) 向け、商業施設向けあるいは住居地域向けを問わず、各種浄水、排水処理施設の企画設計、建設、運営維持を手掛けている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本の先進的でコスト効率の良い水処理技術、特に廃水処理技術を導入し実用化・商業化するために、インドにおける合併による事業展開を想定したパートナーを探索している。当面はインドのローカル市場をターゲットとするが将来的には日本も含めグローバル市場への拡大も検討したい。パートナーとなる日本企業には、革新的で高効率な水処理技術を生み出す高度なR&D能力、また高レベルの品質規格に適応し複雑な規制環境に対応していくための最適な業務プロセスに関する知見、スキルを期待する。

■ 共同開発・技術提携

廃水処理、特に廃水中の化学物質 (PFAS) を除去するための先進的な技術を日本から導入することを目的とした技術提携について、日本企業との商談を希望している。パートナーとなる日本企業には、マルチエフェクトエバポレーター (MEE) や攪拌式薄膜乾燥機 (ATFD) といった既存の技術を超える、革新的でコスト効率の高い、また処理規模拡大や規制・規格適合といった課題にも対応できる、優れた技術を期待している。また日本企業のプロジェクトマネジメントのスキルや品質、信頼性へのこだわりからも学ぶところが多いものと考えている。なお、技術提携から中期的に上記のような合併事業に発展する可能性についても視野に入れている。



マルチエフェクトエバポレーター (MEE)、および攪拌式薄膜乾燥機 (ATFD)

ETH03

CSN エンバイロメント・アンド・エンジニアリング

CSN Environment and Engineering Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ソンクラーク
 [他事務所] ー
 [HP] www.csn.asia



排水処理貯水槽

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 1億500万円
- 事業内容 : 排気、排水処理工事
- 主要製品 : 公害防止設備の設計、施工
- 取引先 : ゴム製造業、その他製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は環境汚染を低減するため土木工学を駆使してあらゆる工場に公害防止装置を中心に建設する。タイでは天然ゴムの処理工場＝ラテックス製造工場における環境汚染が深刻で、排気、排水設備を中心に廃棄物処理、除去に関わるシステム構築、建設工事を行う。工場全体の灌漑設備や排水装置に関わる土木、インフラ工事、ポンプシステム、有害廃棄物処理、衛生管理等、環境全般に関わる工事を設計、施工する。もちろん、防火、操業安全等、従業員の安全確保が最優先である。それぞれの製造工場における問題に従い、製品品質を保ち、環境問題に対処する技術、サービスを提供する。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本の先進公害防止設備、排気、排水、有害廃棄物処理に関わる最新技術に興味がある。タイではまだまだ行政、企業経営者等の環境意識、環境行政・管理が行き届かず、多くの問題が放置されたままである。日本の先進環境技術を導入してゴム業界を中心に周辺環境を汚染しない、排気、排水処理を中心にした装置を導入し、環境保全を実践したい。日本の先進技術、装置の導入のため、形には拘らず、技術提携、将来的な合併設立による展開も含めて、先進企業との協業を希望する。



排気処理装置

EVN02

HHP グローバル

HHP GLOBAL Joint Stock Company

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ハイフォン
 [他事務所] ー
 [HP] <https://hhppaper.com/>



テストライナー



ミディウムペーパー



原料古紙

- 設立年 : 2012年
- 資本金 : 51億1100万円
- 従業員数 : 174名
- 売上高 : 50億4000万円
- 事業内容 : 製紙業
- 主要製品 : ミディウムペーパー、テストライナー、クラフトライナー等
- 取引先 : 段ボール製造工場、紙商社
- 国際認証 : ISO9001,14001 (準備中)
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

ハイフォンホアンハ製紙(株)再建のために2012年末に5人の株主によって設立。取り壊される危機にあった工場を復活させ、金融面や雇用面で社会的に大きく貢献。製紙業では珍しい上場企業となり、米国グリーンビルディング基準 (LEED) を満たすベトナム初の企業となった。DX、ESGに積極的に取り組み、2035年までのネットゼロ目標を設定するなど先進的な取り組みを進めている。本商談会では、原料となる古紙等の調達、また、製紙業における環境配慮技術や品質管理技術に関する連携可能性について製紙業、古紙卸業者などとの商談を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

製紙原料となる古紙の調達について商談希望。主な商談対象はOCC (Old Corrugated Container)。現在の生産能力10万トン/年に対し、価格次第では年30-50トンの調達を希望。その他、数量は多くないものの紙パルプの調達や繊維形UKP (漂白していないクラフトパルプ) にも関心あり。OCCについては現状欧米や日本からの輸入や国内調達で賄っている。2年後にはベトナム中部に同規模の新たな製紙工場を建てる計画もあり、調達先を確保したい。

■ 共同開発・技術提携

高品質のクラフトライナー製造にあたり、エネルギー効率の向上、温室効果ガスの排出管理、原材料に含まれる不純物の管理技術の向上について技術提携の可能性を探りたい。その延長として、当社が上場会社であり、業界で一定の知名度を有すること、また製造拠点の拡大を予定していることから戦略的株主として将来的な連携可能性を議論できるような製紙会社などがあれば話を聞いてみたい。

EVN03

マディンケム

MADIN CHEM JOINT STOCK COMPANY

[参加予定者] 代表取締役

[本社] フンイエン

[他事務所] ビンズオン

[HP] <https://madinchem.com/>

各種製品

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 1億2000万円
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 7億5000万円
- 事業内容 : 化学品製造業
- 主要製品 : 自動車用潤滑油、冷却液等
- 取引先 : 自動車メーカー、ガソリンスタンド
- 国際認証 : ISO9002
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

自動車用の潤滑油、冷却液、アドブルー（ディーゼルエンジンからの排気ガス中の窒素酸化物を低減するための高品位尿素水）を製造販売する化学メーカー。特にアドブルーの製造販売についてはベトナムにおける先駆者であり、約60%の市場シェアを持つ。ベトナム全土に製品供給網を持つほか、製品販売の約50%は輸出されている。

製品の製造プロセスの省力化・自動化に力を入れることで低コストでの製造を実現し、また全国のガソリンスタンドへの供給にあたっては各種システムの導入等により流通コストを低減するとともに顧客サポート・利便性向上に努めている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

自動車からの廃油（潤滑油、冷却液等）をリサイクルし、各種原料として使用されるベースオイル（基油）やモノエチレングリコールを製造販売する事業を、ベトナム及び周辺アジア諸国において、当社との合併で展開するためのパートナーを探索している。合併のパートナーに対しては、単なる出資だけでなく、上記事業に必要な各種技術や、市場開発に必要なノウハウ・経験の提供を通じた戦略的パートナーシップを期待している。当社からは、当該分野におけるベトナムおよび周辺諸国での経験知見・ネットワークやブランド評価・知名度、低コスト製造のノウハウにより貢献することが可能であると考えている。

■ 共同開発・技術提携

上記事業の展開にあたり、出資を含む合併という形態ではなく、技術提携という形での協業を議論することも可能である。効率の高い廃油リサイクルシステムの構築方法や、そのために必要な技術力・研究開発力を有する日本企業との商談を期待している。



工場内観

EIN10

シュリー・ガネーシュ・プレス・エヌ・コート

Shree Ganesh Press and Coating Ind. Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] CHH.サンバジナガル(マハラシュトラ州)
 [他事務所] ー
 [HP] www.sgpnc.co.in



ペレット製造機

- 設立年 : 1999年
- 資本金 : 1765万円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 7億250万円
- 事業内容 : 金属加工、機械組立・製造
- 主要製品 : 自動車部品、電機部品、
機械製品
- 取引先 : 自動車部品メーカー、
電機部品メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、14001
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

当社は板金、溶接加工を得意とし、自動車部品、電機部品、ディーゼル発電機等、機械組み立てまで行い、自社ブランド機械製品の開発から販売も行う。最近ではバイオマス関連製品の開発販売を手掛け、特に農業残渣に注目、バイオマス燃料として利用を普及させるため、ペレット製造機を開発販売している。ペレットの用途としては、暖房器具と工業用熱源利用となる。再生可能エネルギー開発の一環として農業残渣等のバイオマス利用に着目しており、持続可能な資源利用を実現したい。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携、合併会社の設立

再生可能エネルギー分野に興味があり、現在注力中なのが農業残渣を利用したバイオマス燃料利用である。ストーブ等の暖房用、工業用熱源燃料としてインドの農業残渣を有効利用したい。酪農、農業、木材残渣を広く利用したバイオガス開発にも注目しており、インド国土利用の持続可能性を高めたい。日本の優れたバイオマス利用技術を導入してインドの農業、林業等残渣を熱源として有効利用したい。ペレットやバイオガス利用に留まらず、バイオマス資源の有効利用につき、最先端技術を導入することによって更なる研究、開発を推進したい。協業の方法には柔軟で、技術提携、技術指導、将来的にはインド資源の有効利用のため、合併会社を設立して取組を進化させたい。



機械加工治具

EIN11

グリーンリア・リニューアブル・テクノロジーズ

Greeneria Renewable Technologies Private Limited

[参加予定者] 取締役

[本社] バンガロール

[他事務所] ー

[HP] <https://greeneria.in/>

バイオガスプラント

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 2億5600万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 2億9000万円
- 事業内容 : 廃棄物リサイクル業
- 主要製品 : バイオガスプラント、ごみ処理設備機器
- 取引先 : 政府機関・地方自治体等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

環境への配慮 (go-green) を念頭に、有機ごみのリサイクルに関わる各種設備機器を製造販売する企業。具体的な製品としては、バイオガスやバイオメタンの発生プラント、有機ごみ処理装置やその他関連機器（脱水機、破碎機、攪拌機等）がある。これらの設備機器は、顧客からの要望に応じて製作され、最新の技術を活用して効果的・効率的に必要な機能を発揮するよう当社が製造している。政府・地方自治体や各種国営企業と連携して多くのプロジェクトを手掛ける他、様々な分野の企業を幅広く顧客に持つ。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

高品質・高効率な日本の優れたごみ処理関連設備機器をインドにおいて輸入販売することを検討しており、代理店契約について日本企業と商談を行いたい。ごみ処理関連の設備機器であれば、有機ごみ・無機ごみ（プラスチックを含む）を問わず幅広く議論の対象としたいが、当社として特に関心があるのは、バイオガスプラントおよび関連設備機器、廃棄プラスチック処理および医療廃棄物処理のための設備機器等である。

■ 合併会社の設立

上記のようなごみ処理関連設備機器をインドにおいて製造販売するための合併会社設立について、日本企業と商談を行いたい。当社からは既存の工場施設や現地での製造ノウハウを提供できる他、拡張のための追加投資の用意がある。製品販売についてはインド国内を主として想定しているが、インド政府からの各種インセンティブを活用した製品輸出についても検討可能である。

■ 共同開発・技術提携

上記のようなごみ処理関連設備機器の開発製造について、合併による事業展開に限らず、技術提携や共同開発等の枠組みによる日本企業との協業についても、検討することが可能である。



有機ごみ処理設備



脱水機

ETW03

サーモリシス

Thermolysis Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役

[本社] 台中市

[他事務所] ー

[HP] <https://www.thermolysis-asia.com/en>

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 2億200万円
- 従業員数 : 44名
- 売上高 : 1000万円
- 事業内容 : リサイクル炭素繊維(RCF)の回収・加工業
- 主要製品 : 炭素繊維素材・利用製品
- 取引先 : 自転車製造業、スポーツレジャー用品製造業
- 国際認証 : UL2809、ISO14067
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

リサイクル炭素繊維（RCF）のリサイクルと加工を行う台湾の企業。工場の拡張や無人化を通じて年間2000トンの生産量達成を視野に事業拡大を進めている。その一端としてRCFの配合と処理工程の改良を進め、建材や金属複合加工などへの用途展開を重視。将来的な海外工場の設立や海外市場への販売も見据えている。

材料開発から廃棄物管理までの包括的な局面での商談を広く希望。特に、複合材料や化学材料のメーカーや3Dプリンタ製造メーカーとの協働による販路開拓、製品開発、素材開発を希望。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

リサイクル炭素繊維（RCF）の機能強化に資する素材や原材料、RCFの加工製造にあたり、無人化や効率化を可能とする製造設備、あるいは生産管理・品質管理の向上に適応するシステムやソフトウェア等の調達に関心があり、日本企業からの購入を希望する。

■ 合併会社の設立

現在、台湾製設備を用いて国内でリサイクル炭素繊維（RCF）の回収・加工を行っているが、日台いずれの合併も可能であり、広く検討を行いたい。スタートとしては、売買や技術提携を通じた関係構築から始めることになるが、投資規模は合併目的に応じて判断していく。

■ 共同開発・技術提携

当社は国際認証をとっており、信頼性の高い炭素繊維原料を確保することができることから、RCF供給に関するアジア市場への日本企業との共同展開、原料の配合や加工技術による連携、新たなRCF応用製品の開発、また販路拡大については、RCFの供給を補完し特定の市場を囲い込むような共同販路戦略の策定をしたいとも考えている。

RCFによる製品加工例
（左上から時計回りに）
水筒かご、自転車用シューズソール、自転車ペダル、自転車サドル

EID02

ルーバス・スクセス・バルサウダラ

PT ROOBAS SUKSES BERSAUDARA

[参加予定者] 取締役

[本社] ボゴール

[他事務所] ジャカルタ

[HP] <https://www.roobasthecompany.com/>

[会社概要]

繊維廃棄物のリサイクル材を用いたファッションデザイナーが運営する企業。インドネシアの伝統的な素材をリサイクルし、オリジナル生地「ペルカ・マーマー」として使用。ファッションショーへの参加を通じた一般消費者向けの商品に加えて、企業や学校の制服並びにファッショングッズの製造・販売も手掛け、東南アジア、オセアニアを中心に販売を広げている。日本の大手ファーストファッションブランドとも衣料リサイクルで協業している。当商談会では、繊維廃棄物の管理技術や衣料製造技術に関する技術提携について商談を希望。その他にも現地ネットワークを活かした衣料等の販路拡大も商談対象となりうる。

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 465万円
- 従業員数 : 15名
- 売上高 : 4650万円
- 事業内容 : リサイクル衣料の製造・販売
- 主要製品 : 一般ファッション、制服等
- 取引先 : アパレル、ホテル、銀行等
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : 有

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

リサイクル繊維の大半はコットン、レーヨン及びポリエステル。これまで700kgの繊維と6000着以上の衣服をリサイクルしてきた。これらの繊維廃棄物の管理方法の改善や衣料製造技術の向上にあたって日本企業との技術提携を希望する。具体的には、複数の素材を一度で裁断できる機器を用いた裁断効率の向上や、繊維廃棄物の効率的な管理に必要な設備、トレーニング、システム、またリサイクル材への防水コーティング技術や繊維の軟化技術について関心があり商談を行いたい。

上記以外も、日系企業やホテルチェーンとの多様な現地ネットワークを保有しており、インドネシア市場への展開を考えているリサイクル衣料関連事業者と、広く商談することが可能である。



伝統的デザインを用いた商品



リサイクル繊維を用いた制服



廃棄繊維のリサイクル

ETH04

ウボン・バイオ・エタノール

Ubon Bio Ethanol Public Company Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] バンコク

[他事務所] ウボンラーチャターニー (タイ)

[HP] <https://www.ubonbioethanol.com/en/home>

【会社概要】

キャッサバの根を原料とするタイ北東部最大のエタノールメーカーで上場企業。2,400トン/日の生産能力を有する。主力製品は、キャッサバ由来の工業用・燃料エタノール及びアルコール。グループ企業ではタピオカ粉、キャッサバ粉、その他にもコーヒー、土壌改良剤などを製造・販売している。製造プロセスからの副産物からバイオガスを生産し自社エネルギーとして利用するなど環境意識が高い。既に日本市場への販売に向けたアプローチを進めている。本商談会では、キャッサバでんぷんを原料した新分野への展開やキャッサバ原料の発酵技術を中心とした日本企業との連携を希望。

- 設立年 : 2006年
- 資本金 : 171億円 (グループ全体)
- 従業員数 : 350名 (グループ全体)
- 売上高 : 249億円 (グループ全体)
- 事業内容 : 産業製品製造業
- 主要製品 : 産業用エタノールの製造
- 取引先 : 石油化学工業、飲食料品製造
- 国際認証 : ISO9001, 14001
- 日本企業との取引経験 : 有

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社が豊富に有するキャッサバでんぷんに関し、新たな食品・非食品分野への新分野展開を目指しており、それを実現できる革新的なでんぷん加工技術や新製品開発について協業をしていきたい。またバイオエタノール生成工程における原料の発酵技術で、品質や歩留まりを向上させるための技術に関連する製品やサービスであれば、日本企業からの調達や将来的な合弁など様々な協業を行っていきたい。



キャッサバ由来
エタノール製品



キャッサバ製品

ETH05

ケミカル・スペシャルティーズ

Chemical Specialties Corporation Limited

[参加予定者] 取締役

[本社] バンコク

[他事務所] -

[HP] <https://www.cpp.co.th/csc>

社屋外観

- 設立年 : 1981年
- 資本金 : 2億1500万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 27億円
- 事業内容 : 特殊化学品卸
- 主要製品 : ポリウレタンフォーム剤、ポリウレタン接着剤、活性炭
- 取引先 : 包装、食品、自動車業界
- 国際認証 : BRC食品安全認証、ハラール認証
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はタイにおいて包装、食品、自動車業界など幅広い業界向けに特殊化学品を提供する大手輸入販売事業者である。市場としてタイ全土を網羅しており、顧客の要望に応じて必要な所用数を必要なタイミングで的確に納入可能な物流体制を自社で整備している。取扱い製品の調達先は多岐にわたり、繊維用化学薬品などは欧州から、また活性炭や包装用接着剤などはマレーシアから輸入販売している。更に日本の武田薬品工業や米国のSolkatronic Chemicals社のタイにおける代理店でもあることから両社の製品を幅広く取り扱っている。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

タイ市場への参入を新たに希望する化学品製造メーカー、商社との商談を希望している。現在、主に産業用、食品用化学品の輸入販売を行っているが、既存の製品ラインアップを補完する新たな商材を提供可能な日本企業との協業により事業拡大の可能性を探っている。特にタイ市場においてプレミアム価格で流通可能な革新的な食品化学品を求めている。当社と協業する日本企業にはタイ全土にわたる当社の強固な販売ネットワークを通じて事業拡大の機会を提供することが可能である。



社屋外観

EID03

ババ ラフィ エンタープライズ

Baba Rafi Enterprise

[参加予定者] 代表取締役

[本社] シドアルジョ

[他事務所] -

[HP] <https://www.babarafi.com/>

ケバブ

- 設立年 : 2003年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 1500名
- 売上高 : 15億円
- 事業内容 : 食品事業者
- 主要製品 : ケバブ
- 取引先 : 食品、飲料メーカー
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

トルコ料理であるケバブをフランチャイズ展開する食品事業者である。2003年に小さなフードカート1台で起業した当社は、2005年に現在の会社体制を発足させフランチャイズ化を展開。インドネシアの人々に広く支持され、1300以上の店舗を持つまでに瞬く間に急成長を遂げた。現在ではインドネシア以外でもフィリピン、マレーシア、スリランカ、中国、オランダ、シンガポール、ブルネイ、バングラディッシュ、インドと9か国に68店舗を持つに至っている。今後数年間でファーストフードカテゴリーで世界最大のプレーヤーの一角を占めることを目指している。

商談会参加目的

■ 日本企業への生産委託

環境に優しい包装パッケージを製造受託可能な日本企業との商談を希望している。「Grab-and-Go」のコンセプトを持つ当社事業においては、魅力的なパッケージが非常に重要な要素のひとつであるが、インドネシアでそれを調達することには限界があるため日本企業への製造委託を検討している。具体的には再生紙、生分解性プラスチック、堆肥化可能な材料の利用といった環境への影響を低減するというブランドの取り組みを維持しながら、顧客に対して機能性と見た目の魅力を両立させたさまざまな環境配慮型包装ソリューションを模索している。日本からの輸入については選択肢から排除はしないものの価格適合性で判断することとなる。



スモークビーフ

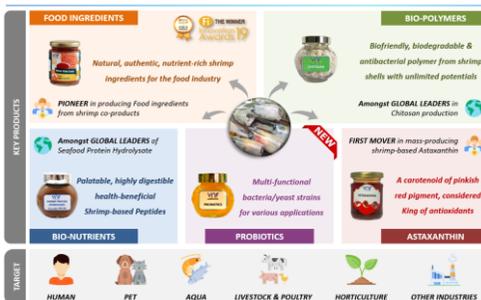
EVN04

ベトナム・フード

VIETNAM FOOD JOINT STOCK COMPANY

[参加予定者] 取締役
 [本社] カマウ州
 [他事務所] ホーチミン市
 [HP] <http://www.vnfoods.vn>

Stemming from a single shrimp head, VNF has successfully mass-commercialized a unique & comprehensive product portfolio with 80+ different SKUs.



製品群の概要



製品類

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 27億4500万円
- 従業員数 : 280名
- 売上高 : 18億6000万円
- 事業内容 : エビ由来の食品原料・飼料等の製造・販売
- 主要製品 : 食品原料、飼料等
- 取引先 : ペットフード製造業、園芸肥料製造業、食品製造業等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO22000、ハラール認証等
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

エビ由来の副産物を食品、ペット、農業向けにアップサイクルする事業を展開。バイオテクノロジーによる廃棄物ゼロ生産（グリーンアプローチ）により、エビ由来のタンパク質加水分解物（エビペプチド）の粉末や、バイオポリマー（キチン、キトサン）等を供給。当社のバイオソリューションを通じ、輸入魚粉と枯濁魚粉の削減、抗生物質の削減、化石ベース肥料の削減、食品添加物の削減、サプリメント成分の提供の側面から価値提供を目指している。自社製品の日本市場への展開を目指すとともに、製造技術面での課題解決を図るべく日本企業との商談を希望。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

エビ由来のペプチドやバイオポリマーの用途開発や液体状の原料を粉末化する技術、味・風味の種類の拡充に関する材料・技術、製品のBioactivity（生物活性）の向上に資する技術の協業可能性を確認したい。設備機械の導入よりも技術面での連携に関心が高い。また、エビに限らず自社リソースが生かせる場合はその他の海洋原料や農業原料についても商談したい。設備機械の導入よりもメリットがあれば、上記のプロセスの一部を日本企業に生産を委託する可能性もあり得る。

EIN12

アビテック・エナジーコン

ABHITECH ENERGYCON LIMITED

[参加予定者] 取締役

[本社] ムンバイ

[他事務所] チェコ、ブラジル、エジプト

[HP] <https://www.abhitechenergycon.com/>

[会社概要]

創業以来26年の歴史を持つ研究ベースの企業であり、インド工科大学を始めとする国内外の著名な研究機関と強固な協力関係を築いている。当社開発の燃焼触媒は、ボイラー、発電所、高炉、車両、建設機械の効率を向上させ、特殊化学品は、鉄鉱石のペレット化、アルミナ処理、湿式急冷コークス、石炭、鉄鉱石の水分低減、輸送および供給中の石炭、鉱石の浮遊性向上などに貢献。燃料燃焼に関する様々な課題を解決することで、幅広い業界の顧客に対し、製品品質の向上とコスト削減、プロセス強化を実現させるだけでなく、社会全体のエネルギー保全と汚染制御の分野に貢献している。

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 1億8600万円
- 従業員数 : 350名
- 売上高 : 31億円
- 事業内容 : 触媒・化学薬品製造業
- 主要製品 : 燃焼触媒、特殊化学薬品
- 取引先 : 製鉄所、セメントメーカー、電力会社、鉱石加工業、運輸業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有



取扱い製品

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

二酸化炭素排出量の削減に役立つ新製品、技術開発に関心を持っている。特に炭素回収、省燃費、鉱石処理の強化に関する技術開発に携わる日本の企業や研究機関と長期的かつ相互利益を追求した共同開発・技術提携を前提とした商談を希望している。特に製油所添加剤の調達、燃焼工学の分野における新製品と技術、脱炭素化のためのCAPEXフリー技術、プラントの信頼性、可用性、運用効率を向上させる日本の石炭火力発電と石油火力発電技術等に関心を持っており、鉄鋼、セメント、鉱業、砂糖産業、化石燃料(石炭)、石油燃料火力発電所、自家発電プラント、船舶、ディーゼル発電設備、建設・採掘設備等の市場をターゲットとしている。当社と協業する日本企業には当社が保有するインド国内外のネットワークを活用できるメリットを提供可能である。



取扱い製品

EID04

エポキシンド・アート・レスタリ

PT. Epoxyndo Art Lestari

[参加予定者] 取締役（マーケティング）
 [本社] ラヤ ナラゴン、ボゴール
 [他事務所] ー
 [HP] www.epoxyndo.co.id



アスファルト塗工



パイプライン塗工



アウトドアグラウンド表面処理

- 設立年 : 1993年
- 資本金 : 563万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 4億6900万円
- 事業内容 : 化学塗料製造、塗工工事
- 主要製品 : 化学塗料、塗工工事
- 取引先 : 地方自治体（道路工事）、自動車メーカー、スポーツ施設
- 国際認証 : ISO9001、14001、50001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は化学塗料製造、及びあらゆる土木、建築関係の表面保護、補修工事まで実施できる。土木関係ではコンクリート道路の補修、アスファルト舗装から路面標示塗工までを行う。また建築関連ではインフラ関連金属パイプ、ガス・石油タンクのライニング、表面保護塗装まで、素材に合わせて防水、耐薬剤保護等の機能塗装を行う。特殊なところでは、アウトドア人工グラウンド用エポキシ表面処理や、木材表面、石面保護まで、耐水、耐光、耐薬品塗工を実施できる。塗料化学工業分野にて常に新素材に向き合い、機械、航空機、自動車、日用品に至るまで表面保護用塗料の開発、製造、塗工までを一貫して行う。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

化学塗料の開発、製造、塗工まで一貫して行うが、新素材向けの開発、塗工技術等、現在200以上ある塗工材料の幅を更に広げて、ありとあらゆる表面補修、保護塗工に対処するため、日本の技術を導入したい。自動車等の塗工剤は日進月歩で日本メーカーとの協業が必要、また塗工技術においても、環境面、自動化等、日本メーカーとの技術提携を希望する。技術提携から始めて、ゆくゆくは国産化比率（TKDN認定）をクリアし、新塗料の現地生産に向けて合併企業設立にも前向きに取り組みたい。

EPH05

アイデアテックス・パッケージング

Ideatechs Packaging Corp.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] マラボン
 [他事務所] ケソン、セブ
 [HP] <https://greenpak.ph/>



パイナップル繊維から
作った紙カップ



パイナップル繊維から
作った紙シート（開発
中）

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 300万円
- 従業員数 : 27名
- 売上高 : 5340万円
- 事業内容 : 紙製品の製造販売
- 主要製品 : 食品包装容器、パイナップル皮から作る紙材料
- 取引先 : 食品製造業、医薬品製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

「GREENPAK」ブランドの下、紙カップ、ミールボックスなど、飲料業界向けの食品容器や包装紙を製造し、B2Bで供給。「プレミアムパッケージングソリューション」を打ち出し、少量発注に対するデザインカスタマイズにより競合大手との差別化を図っている。原料としてパイナップルの葉を利用した生分解性の高い紙を利用しており、環境意識の高い企業から好評価を得ている。本商談会では、パイナップル紙コップのInsulation（防水）機能開発や事業規模拡大に関する連携について日本企業との商談を希望。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

パイナップル紙の事業は「AD&D Future Impact Awards 2019」での受賞歴があり、シート換算で年間2トンから20トン、紙コップ個数換算で5000万個の製造を目指している。そのためには現状の手作業を機械化する必要がある。このビジョンを実現するためローカル企業グループとの合併を模索しているが、下記のような技術提携の延長線上に日本企業との合併可能性も協議したいと考えている。

■ 共同開発・技術提携

現在はパイナップル紙と他の材質を組み合わせる2.5オンス（70g）から22オンス（623g）までのサイズのカップを成形機を用いて製造。デザイン企業やパイナップル農家、手漉き紙メーカーと連携して事業を行っているが、将来的には100%パイナップル繊維に置き換えていきたい。通常、紙コップの断熱・防水（Insulation）にはポリエチレンの薄いフィルムが用いられており、当社ではポリエチレン塗布済みの紙を購入してパイナップル繊維と組み合わせているが、パイナップル繊維の割合を100%に高めるために、より環境負荷の小さい方法を模索中。求められる性能は、食品容器にも応用できる安全性が高いもので、液体の漏れを防ぎ、お湯の沸騰温度に耐えられること。これらの条件を満たす技術や製品を持つ企業や研究機関との商談を希望する。

EPH06

サクセス・インターナショナル

SUCCESSU INTERNATIONAL INC

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ヴァレンズエラ
 [他事務所] ー
 [HP] ー



当社で対応可能な包装
 資材（材料）の例

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 2億6800万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 8億7000万円
- 事業内容 : 包装資材の印刷、製造、販売
- 主要製品 : 軟包装資材
- 取引先 : 食品メーカー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

主に食品包装向けの真空パック、パウチ等の軟包装を専門とするメーカー。最新のグラビア印刷機器や設備を導入しており、高品質の印刷により顧客の様々なニーズに対応している。12-200ミクロンの範囲の各種ラミネートフィルムに最大12色の印刷が可能。アルミホイル、ポリエチレン、ポリプロピレン、PET、PVCフィルム等の各種素材に幅広く対応しており、また健康や環境への影響が少ない生分解性プラスチック素材等の活用も進めている。当社としては技術革新や顧客ニーズの変化に対応し続けるとともに、競争力のある価格での製品提供に努め、フィリピン国内だけでなく輸出も含めた事業拡大を目指している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

軟包装の印刷及び製造に関連し、日本から先進的で優れた技術や工程、設備等を導入するための技術提携の可能性について、日本企業との商談を希望している。特に関心がある技術、工程、設備等は、印刷及び製造工程のコスト効率の向上を可能とするものと、より環境に優しくサステナブルな製品や工程の実現に役立つものとなる。また、これらの技術提携のみならず、当社製品（軟包装）の日本市場への導入、展開を支援していただける日本企業があれば歓迎したい。



当社製品の例

EID05

クルティバ・インドネシア・マクムル

PT. KULTIVA INDONESIA MAKMUR (Kultiva Co.)

[参加予定者] 取締役
 [本社] ジャカルタ
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.kultivaco.com/>



当社製品



当社製品

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 2400万円
- 従業員数 : 28名
- 売上高 : 3600万円
- 事業内容 : 食品（スナック菓子）の製造販売
- 主要製品 : テンペ（大豆発酵食品）を主原料としたスナック菓子
- 取引先 : スーパーマーケット等
- 国際認証 : ACCP、FSSC22000
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドネシアの大豆発酵食品であるテンペを主原料に、野菜・果物等を使用したスナック菓子を製造・販売する。天然由来の原材料を使用したヘルシーなスナック菓子を提供することを通じて、持続可能で環境と調和したビジネスを展開している。2016年に従業員2名の小さな家族ビジネスとして創業し、現在では従業員28名を抱え、インドネシアの代表的なディストリビューター8社を通じてインドネシア国内約2800の小売店での販売を行うとともに、米国・カナダ・オーストラリアや周辺諸国に輸出している。今後も製造規模の拡大と新製品の開発、新たな輸出先の開拓に努める。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

スナック菓子（チップス）の製造に関して、製造効率の向上や製品品質の向上（賞味期限の延長等）に役立つ技術や設備機械を持つ日本企業との商談を希望する。発酵、フライング（揚げ）、カットイング、乾燥、脱油といった各工程において、製造工程を改善すべく日本の技術・設備を導入したい。また、当社の所有する約110,000平方メートルの土地を活用し、果物や野菜の契約栽培および日本を初めとする海外市場への輸出を検討している。そのために、優れた栽培技術、農薬やポストハーベストのノウハウ等を持つ日本企業との技術提携について商談を実施したい。あわせてこの土地でレジャーや教育啓発のための体験を提供するエコツーリズム・アグロツーリズムの拠点・施設としての活用も検討しており、そうした施設運営・ビジネス展開のノウハウを有する日本企業との商談を希望する。中長期的には合併事業としての展開も検討したい。

ESI01

ンガイ・ヘン

Ngai Heng Pte Ltd.

[参加予定者] 部長
 [本社] シンガポール
 [他事務所] -
 [HP] <https://www.ngaiheng.com.sg>



当社印刷物

- 設立年 : 1985年
- 資本金 : 3億円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 45億円
- 事業内容 : 印刷業、広告業
- 主要製品 : オフセット印刷、展示会ブース
の設計・設営等
- 取引先 : 銀行、小売業等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

シンガポールに所在する商業印刷および広告会社。銀行や小売業をはじめとした様々な業界の顧客を国内外に持つ。主力事業はオフセット印刷となり、カタログや、チラシ、年次報告書、封筒、名刺、カレンダー等を印刷している。また、法人の顧客向けに、景品やノベルティ等のコーポレートギフトの調達を行う。調達したギフトには、製品の企業ロゴなどの彫刻、印刷、エンボス加工等を施して提供が可能である。顧客の依頼に応じて、当社デザイナーを中心にユニークな製品を設計・製造することもある。また、展示会ブースの設計及び設営は拡大中の事業となる。設計等だけでなくイベント管理を包括的に支援する。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社では各事業において日本企業からの調達を検討している。オフセット印刷では、再生紙やFSC認証紙、環境に配慮されたインクを調達しており、これらにおいてコストダウンが図れる調達先を探している。また、景品、ノベルティ等のコーポレートギフトの調達では、多くの顧客が持続可能な素材を用いた品物やアイデアを求めているため、これら品物等を探している。また、展示会ブースの設計及び設営では、展示会ブース内で用いるカウンタートップや、折りたたみ椅子、照明などの家具において、再利用、リサイクルできる持続可能な素材や製品の導入を検討している。環境に配慮した製品を取り扱うことが当社にとって大きなプラスとなるためご提案いただきたい。



当社が調達したノベルティ等のコーポレートギフト



当社が設計及び設営を行った展示会ブース

ESI02

ドオ クリエイションズ

DOU CREATIONS PTE. LTD.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] シンガポール
 [他事務所] ー
 [HP] <https://doucreations.com>



当社のライブコマース

- 設立年 : 2017年
- 資本金 : 2000万円
- 従業員数 : 5人
- 売上高 : 1億円
- 事業内容 : 越境型ライブコマースの企画及び運営、コンサルティング業
- 主要製品 : 食品、調理器具、化粧品、生活雑貨、家電等
- 取引先 : 日系の食品、調理機器、化粧品、生活雑貨、家電メーカー等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、シンガポールのマーケットへ進出を目指す日本企業向けに、フェイスブック等のライブ配信機能を活用した越境型ライブコマースの企画及び運営を行っている(ライブコマース年間取扱高は約2億円)。同ライブコマース事業では、「海外進出のはじめの一步をフルサポート」を掲げ、日本国内指定の倉庫へまとめて配送するだけで納品が完了するサービス等、貿易知識を持たない企業でも始めやすいサービスを展開している。その他、日本製品のシンガポールでの販売促進として日本の人気アニメとのコラボの企画・運営を行う等、日本のコンテンツを生かした海外進出支援の実績を持つ。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

越境型ライブコマース向け商品として、環境に配慮した食品、調理器具、化粧品、生活雑貨、家電のうち、当社の顧客層である「シンガポール在住の食への感応度が高い層」が関心を示す製品を探している。当社のターゲット層は、日本らしい高品質なものや、ここでしか買えないものを求めているため、そういった製品を幅広く提案してほしいと考えている。人気商品の例としては、高機能なフライパン(チタンコート等)、包丁、なべ、雨傘、日傘、エコバックなどがある。



当社のライブコマース

ETH06

K.A.ブランド

K.A.BRAND CO., LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンコク
[他事務所] ー

[HP] <https://www.ka-brand.com>



当社取扱商品

- 設立年 : 2012年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 4500万円
- 事業内容 : 輸入販売店
- 主要製品 : 日本製玩具、ライフスタイル商品、スポーツウェア
- 取引先 : デパート、スーパーマーケット
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は2012年に設立された輸入卸売店。主に日本製の玩具、キャラクター商品、ライフスタイル商品、スポーツウェアを輸入し、タイのデパート及びスーパーマーケットに卸売りすると共に、オンラインショップでも拡販をしている。具体的には、バリィさん、鬼滅の刃、ガンダムといった日本でも人気のキャラクター商品、ランニングやゴルフ用ウェア、更には文房具、ガラス製品、ガーデニング商品等も取り扱っている。日本商品の人気は高く、今後タイ市場で取り扱う日本商品を更に増やしたく、商談会に参加する。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

当社は、5年以上タイにおいて日本製品を販売している輸入卸売店にて、当社の強みはすでに20以上のブランドを取り扱っていることや、高島屋、タイの有力百貨店、あるいはロフト、紀伊国屋といった専門店、玩具店、スポーツショップといった多岐にわたる小売店に販売網をもっていること。更には日本語を話せるスタッフもいて、日本企業とのコミュニケーションが容易なことも強み。今回の商談会を機会に、新しい日本のパートナーを探したい。



当社取扱ブランド

ETH07

HLM コーポレート

HLM Corporate Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] バンコク

[他事務所] 米国

[HP] <https://www.gaecopak.com>

[会社概要]

2016年に設立されたパッケージソリューションを提供する企業である。大気汚染やプラスチック汚染などの環境問題を解決する革新的な素材や持続可能な製品の開発にも注力しており、当社の製品は様々な業界の顧客によって認められ、今やグローバルブランドの小売事業者やホテルチェーン、接客サービス事業者と革新的パートナーとしての地位を確立している。現在は新たな取組みとして、農村部の人々の貧困と生活の質を向上させるためのコミュニティ製品、持続可能なライフスタイル製品を創造しブランド化するプロジェクトにも注力している。

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 750万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 3億円
- 事業内容 : 包装品製造業
- 主要製品 : 包装紙、包装箱、バイオプラスチック製品
- 取引先 : 小売業、ホテルチェーン他
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社が推進するバイオマス原料から付加価値のある素材を創るプロジェクトに関心を持つ日本のバイオテクノロジー企業との商談を希望している。現在、大気汚染の原因となるトウモロコシの茎やもみ殻から環境に配慮した素材の開発や日用品などに製品化することに取組んでいるが、良質の材料を開発するためのバイオケミカル分野の知見に課題を抱えている。そのためバイオケミカルの分野や新たなライフスタイル製品開発におけるプロダクトデザイン分野での共同開発・技術提携を期待している。

■ 合弁会社の設立

現在推進しているプロジェクトの目標は、より環境に優しく持続可能なライフスタイルに専念するブランドを確立することである。この取組みに共感頂ける日本企業との合弁会社設立を前提とした商談を希望している。共同開発・技術提携により新たな素材、ライフスタイル製品を開発した後、タイで販売するブランドを立ち上げ、その後東南アジア、その他地域に展開することを計画している。



パッケージソリューション製品



ライフスタイル製品

EPH07

ラミロ・リニューアブル・コモディティーズ・
コーポレーション

RAMILO RENEWABLE COMMODITIES CORPORATION

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ドゥマゲテ

[他事務所] ドバイ

[HP] <https://ramilorennewables.com/>

Suma Grass栽培

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 270万円
- 従業員数 : 10名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 再生可能エネルギー事業
- 主要製品 : バイオ炭
- 取引先 : ー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー



バイオ炭 (Bio Charcoal)



バイオ炭 (Bio Coal)

【会社概要】

化石燃料である石炭や森林破壊の原因となる木炭を代替し、より環境に優しく再生可能なバイオ燃料（バイオ炭、バイオマス）を開発するために設立されたスタートアップ企業。原料としてSuma Grassという作物に着目し、その栽培により空気中の二酸化炭素を吸収貯蔵しカーボンバンキングに貢献するとともに、収穫した作物を原料としてバイオ炭（Bio Charcoal, Bio Coal）やバイオマスを製造することを計画している。現時点ではバイオ炭の小規模なサンプル製造のみであるが、今後バイオ炭の量産工場を建設・拡大し、将来的にはバイオマスによる液体燃料製造や発電の分野に展開する予定である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

今後展開を計画しているSuma Grass栽培およびバイオ炭製造販売について、当社との合併による事業展開のためのパートナーを探している。農場および工場のための土地は当社にて取得済みであり、また製品の顧客についても既に目途は立っているところで、パートナーに期待する内容は、Suma Grass栽培農場およびバイオ炭製造工場の操業開始に向けた資金提供（出資）と、バイオ炭の量産工程にかかる技術支援となる。技術支援は、Bio Charcoalを製造するために必要な炭化プロセス（carbonization）の技術、及びBio Coalを製造するために必要な半炭化プロセス（torrefaction）の技術となる。なお、本件については合併（出資を伴う）による協業を想定しているが、バイオ炭の量産工程にかかる技術支援・技術提携のみについても議論可能である。また、日本のパートナーが製品（バイオ炭、バイオ燃料）の日本国内での販売についても関心があり必要なネットワークをお持ちであれば歓迎したい。

EID06

エナジー・ジャヤ・インテグラ

PT Energi Jaya Integra

[参加予定者]取締役

[本社]ジャカルタ

[他事務所]ー

[HP] <https://tradeofindonesia.com/>

自社製ペレット

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 285万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 750万円
- 事業内容 : 木質ペレット等の製造・販売
- 主要製品 : 木質ペレット、チップ
- 取引先 : 食品製造業、繊維業等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

2022年に設立された新興企業で、新しいエネルギーソリューションの開拓のため、木質ペレット、木材チップ、コーヒーペレットを製造・販売。生産量はひと月当たりペレット250トン。また活性炭の販売代理店でもある。バイオマスの需要が世界的に高まる中で、ローカル市場と日本市場の両方で共同マーケティング活動を行うとともに、生産量の拡大に取り組み、共に市場での存在感を高められるような関係構築を希望している。現在は韓国企業へのバイオマス供給について交渉を進めており、海外企業との連携には積極的。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

水処理に用いる活性炭の国内代理店事業を行っており、高品質な活性炭、また効率性が高く省電力の木質ペレット製造機械類、水処理機械の自社利用やインドネシア国内への販売展開について商談したい。また、水処理用の活性炭を製造する技術（炭化、賦活）やその装置の導入についても関心が高い。ただし、TKDNもあり、将来的な現地での付加価値付与を視野に入れた関係構築が求められる可能性はある。

■ 合併会社の設立

木質ペレットの生産能力増強と日本市場を含めた新たな販路開拓に積極的に取り組むため、長期的な視野で日本企業との将来的な合併会社設立を視野に入れている。自社製造のペレットや無煙炭を日本市場向けに展開できるような販路開拓や、インドネシア現地における木質ペレットの生産量増強・効率化、また活性炭製造技術の移転に関心のある木工ペレット製造業や再生可能エネルギー事業者との商談を希望。



活性炭

EVN05

キャット・トゥオン・サウンド・ヒート・インシュレーション・マテリアルズ・プロダクション・コーポレーション
 CAT TUONG SOUND - HEAT INSULATION
 MATERIALS PRODUCTION CORPORATION

[参加予定者] 部長
 [本社] ホーチミン
 [他事務所] バンラム、ダックホア
 [HP] <https://cattuongcorp.com/>



XPS（押出法ポリスチレンフォーム）断熱材

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 14億2000万円
- 従業員数 : 120名
- 売上高 : 18億6000万円
- 事業内容 : 建築材料の製造・販売
- 主要製品 : 断熱材
- 取引先 : 建設会社等
- 国際認証 : IS9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有（グループ会社）

[会社概要]

断熱材を中心に各種建築材料等を製造販売する。2002年の創業以来順調に事業を拡大し、現在では3か所の工場とベトナム全土をカバーする販売サービス網を持つ。ベトナムの南北を問わず多くの工場やオフィス、住宅プロジェクトに断熱材等を供給することで、顧客に快適な環境とエネルギー効率の向上と節約の手段を提供するとともに、人間の生活環境と健康への影響を最小限に抑えることに貢献している。また、販売の約2割程度はベトナム国外への輸出であり、主な輸出先はオーストラリア、ニュージーランド、カンボジア、ミャンマー、米国等である。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

自社で断熱材および各種建築資材を製造するための材料として、各種リサイクル樹脂を日本から調達したい。調達を希望するリサイクル樹脂は、低密度・高密度のポリエチレン（LDPE & HDPE）、および汎用ポリスチレン（GPPS）であり、所要量としては毎月100トン程度を想定している。

■ 共同開発・技術提携

断熱材等の開発・製造にかかる先進的な製品や技術を日本から導入するために、日本企業との協業を希望している。いわゆるグリーンビルディング（地球環境に配慮した建物）の建築に関わる技術や資材、具体的には断熱材その他のエネルギー効率向上・エネルギーコスト低減につながるようなものや、リサイクルに貢献できるようなものに関心がある。協業の形態については、合併の可能性も含め、幅広く議論が可能である。



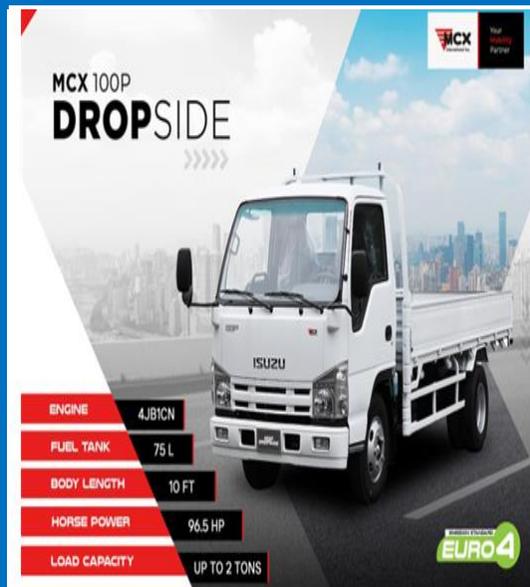
反射断熱材

EPH08

MCX インターナショナル

MCX International Inc.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] マニラ
 [他事務所] フィリピン内数カ所
 [HP] www.mcx.com.ph



いすゞトラック販売

- 設立年 : 2003年
- 資本金 : 4億2100万円
- 従業員数 : 60名
- 売上高 : 14億2100万円
- 事業内容 : 特殊車両製造、輸入、販売
- 主要製品 : 特殊トラック、オートバイ
- 取引先 : フィリピン官公庁、その他法人、個人
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

特殊車両の製造、販売を主に、その他オートバイや家電製品の輸入販売を行っている。いすゞ自動車のミニトラックを輸入して荷台に色々な特殊機能を付加して、例えば救急車、消防自動車、移動食堂（キッチンカー）等、カスタムメイドの特殊車両に改造、販売する事業が大きい。バスや大型トラック、農業機器、産業用特殊車両の取り扱いもあり、3カ所のメンテナンス、サービスステーションがあり、フィリピン全土をカバーするサービス網がある。鉱山開発や、工事用特殊重機、大型特殊車両、農業用特殊車両等、特殊車両中心にフィリピン国内サービスを展開している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

特殊車両に特化した販売、メンテナンス、サービスが特徴で、日本の鉱工業用特殊車両の販売代理店となり取り扱い領域を拡大したい。建設機械や、その他産業用特殊車両、政府関係車両（パトカー等）も含めた取り扱いが可能。農業用や鉱山開発向けに日本の特徴ある車両を販売したい。また、バスや大型トラックを利用した改造車両も得意で、フィリピン政府関連でも納入実績があり、輸入実務、許認可関係にも通じており、アフターサービスも含めてあらゆる顧客からの要請に応える体制を整えている。

■ 合弁会社の設立

新規事業として不動産開発を考えている。具体的には都市部郊外におけるアパート、及び戸建て住宅の開発となる。マニラ、タバオ、ケソン、セブなど都市近郊における上下水道等のインフラに心配のない地域が対象となる。所謂環境配慮型の省エネ、太陽光発電等を完備した持続可能な住宅開発を標榜しており、日本の不動産開発会社と組んで最新設備の導入を目指したい。フィリピンの富裕層向けの都市型住宅開発として、資金面も含め合弁会社を設立して実施したい。



戸建て住宅開発

ETH08

トランダー・インターナショナル

Trandar International Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] バンコク
 [他事務所] ー
 [HP] www.trandar.com



吸・防音材構造

- 設立年 : 1988年
- 資本金 : 2040万円
- 従業員数 : 60名
- 売上高 : 6億3000万円
- 事業内容 : 音響関連住設製造業
- 主要製品 : 吸音・防音壁材、天井材
- 取引先 : 公共施設、レストラン、映画館、コンサートホール
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は音響施設用の吸音・防音天井材、同壁材の輸入、販売を行う。施設に適合した吸音材や消音設備、音響効果を高める材料に特化している。それぞれの施設の設計、デザインの段階から関わり、最適材料の選定や調達を実施するスペシャリストである。これまで、映画館、ホテル、学校施設、スタジオ、レストラン、病院、コンサートホール等、あらゆる消音、防音、吸音、内部音響に関わる施設設計に関わり、必要材料の選定、納入を実施した。商業施設のみならず、個人住宅の防音、音響室設営等にも関わり、設計、デザイン等から広く対応している。

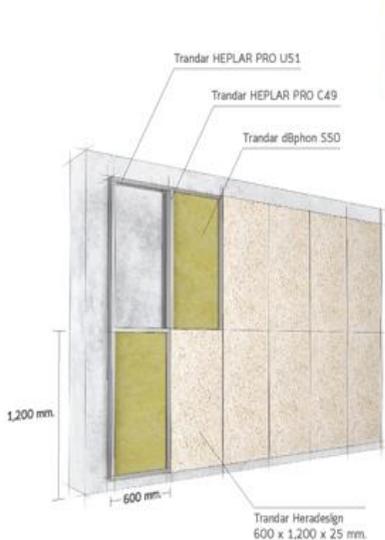
商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

吸音防音等の音響効果のみならず製品を利用する人々や地球環境への影響を考慮したい。自然素材による材料調達を通して、音響効果を保ちながらも環境にやさしい製品の製造を行いたい。また、人間が心地よく感じる素材、設計、デザイン等にも興味がある。物理的な作用のみならず、精神面からも機能付加できる様な素材などがあればよい。現在は音響効果上に優れた欧州品が中心だが、その他の上記機能を付加する新素材、デザイン等を導入したいと考えている。

■ 共同開発・技術提携

上記付加機能を中長期的に研究するパートナー候補を求めている。最近では製造プロセスでも環境負荷の少ない手法が求められており、素材の製造環境はより複雑化している。日本の専門家と共同して、当社の専門知識も併せて技術提携し、新しい素材の開発に当たれると良いと考えている。場合によってはJVを設立して研究、開発することも想定している。



吸・防音パネル

EIN13

ジェネシス・インフラ・プロジェクト・コンサルタンツ GENESIS INFRA PROJECT CONSULTANTS

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ムンバイ（マハラシュトラ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://www.genesisinfraconsultants.com/>

瀝青コーティングを施した
セルロースファイバー
(インド製)

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 1150万円
- 事業内容 : インフラ建設コンサルタント業
および道路舗装資材の卸売業
- 主要製品 : 道路舗装資材（セルロースファイバー）
- 取引先 : 道路・インフラ建設会社
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

道路等のインフラ建設に対するコンサルテーション・プロジェクトマネジメント支援を行うとともに、道路舗装用資材の流通販売を行う企業。道路建設プロジェクト等について、構想・計画段階から実行段階、また実施後の評価に至るまで、あらゆる局面において、クライアントの意思決定に対し効果的な知見と適切な支援を提供することができる。道路の建設・舗装について先進的な砕石マスチックアスファルト舗装（ストーンマスチックアスファルト、SMA）の導入を推進しており、アスファルト舗装の耐久性向上に役立つ瀝青コーティングを施したセルロースファイバーを提供している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本の優れた道路建設・舗装用資材をインドにおいて輸入販売するために、日本企業との商談を希望している。当社はインドにおいて強固な顧客基盤を持ち、道路建設・舗装に関わるあらゆる資材を取り扱う用意があるが、特に環境に配慮した技術や素材を活用したものに関心がある。

■ 共同開発・技術提携

インフラ建設や道路舗装に関して、日本の優れた技術・工法をインドに導入するための技術提携を目的とした、日本企業との商談を希望している。特に、サステナブルなインフラの開発・建設に関わる先進的な技術や工法、資材に関心がある。



道路建設プロジェクトの例

EID07

グローバル・ケプリ・インドネシア

PT Global Kepri Indonesia

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] バタム (リアウ諸島州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.globalkepriindonesia.com/>

- 設立年 : 2002年
- 資本金 : 3750万円
- 従業員数 : 26名
- 売上高 : 9000万円
- 事業内容 : 廃棄物再生業
- 主要製品 : ココナッツ殻チップ等の燃料、
農産物、動物資料
- 取引先 : 電力会社、水耕栽培企業、
商社、農園、コーヒー農家
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は持続可能性に注力し、クリーンかつ効率的な発電燃料を提供している。主力事業は、ココナッツ殻のペレット及びチップの加工・販売、技術相談、配送などのサービスである。強みとして、環境に優しい製品、品質保証、一貫した供給である。世界の食料安全保障、飼料、再生可能エネルギー、浄水の分野で営業している。廃棄物や温室効果ガスの削減、それによる地球温暖化の解決を大きな目標としている。インドネシア国内に加え、世界各国への輸出にも精力的に取り組み、国際貿易センターの認証も取得している。日本市場への進出にも意欲的である。



ココナッツ殻ペレット

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社は、ココナッツの殻をペレットやバイオマスチップに加工することで農業廃棄物を有効に再生利用する取り組みに注力している。そこで、日本企業からココナッツの殻をチップ化およびペレット化する機械を購入したい。購入資金は4600万円程度を想定している。輸送費や税金等も含め、前述の準備資金の範囲で収めたい。チップング機械やペレット製造機械を幅広く求めており、仕様は提案書や商談で情報を確認して考えたい。当社はインドネシア、メキシコ、エジプト、アルバニア等に常連顧客を持ち、継続的にタンカーやコンテナを使って製品を輸出している。

■ 合併会社の設立

環境の持続可能性に優れ、グリーンテクノロジーを有する日本企業と合併事業を行いたい。事業範囲は、販売、生産、革新である。投資額は、総額で450万円必要と考え、日本企業が70%、当社が30%投資することを希望する。場所は、インドネシアのリアウ、スマトラを希望する。ターゲット市場は、今も暖房燃料として木質ペレットや木質チップを使用する欧州諸国である。一方、日本企業に当社の技術を導入すること、日本における当社製品の販路開拓に協力してくれる企業も探している。



ココナッツ殻チップ

EVN06

コントロール・アンド・オートメーション・ソリューションズ・カンパニー
CONTROL & AUTOMATION SOLUTIONS Company

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ダナン
[他事務所] ー
[HP] <https://cas-energy.com/>



エコファクトリーの施工例

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 2億4000万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 4億円
- 事業内容 : 再生エネルギーシステムに関するエンジニアリング
- 主要製品 : ソーラーシステム、スマートグリッド、スマート農業システム等
- 取引先 : 再生エネルギー業、農業等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

顧客にグリーンソリューションサービス(Green as a Service)を提供。具体的にはスマートグリッド(SCADA、DMS、EMS)、再生可能エネルギー(EPC)、循環型農業、建物緑化に関するエンジニアリングサービスを提供。ベトナムでの循環経済のパイオニア企業、および2023年の持続可能な開発企業トップ50の1社として政府にも認められている。

当商談会では「グリーン、農業、環境」をテーマに、工場や農場における再生エネルギーやスマートグリッド活用に向けて技術面や販売面での協業可能性について広く商談を希望。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

グリーン、環境、農業に関連する日本企業と幅広い分野での技術連携を希望。エネルギー効率の高い農業の実現に向けたスマートソリューションに関する技術や設備、また農業の生産性向上に資する自動化の推進に関する技術や設備といったテーマを中心としつつ、再生可能エネルギーを推進するための多彩な技術的パートナーシップの構築可能性を広く検討をしたい。

また、販路拡大での提携にも興味を持っており、あわせて広く可能性について議論を行いたい。



循環型ソーラー農場の施工例

EIN14

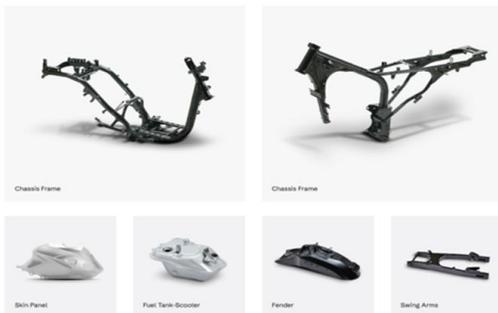
サティヤム・オート・コンポーネンツ

Satyam Auto Components Pvt Ltd.

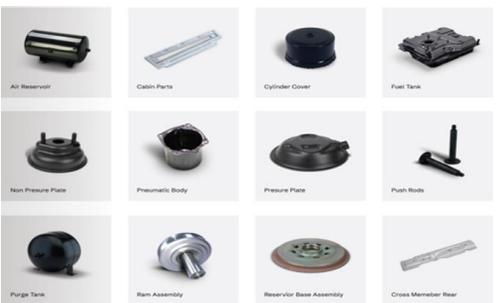
[参加予定者] 代表取締役

[本社] グルگرام

[他事務所] チェンナイ他インド国内に5カ所

[HP] <https://www.satyamauto.in/>

二輪車シャーシ、燃料タンク等



その他金属加工部品

- 設立年 : 2001年
- 資本金 : 9000万円
- 従業員数 : 4500名
- 売上高 : 250億円
- 事業内容 : 金属加工部品の製造・販売
- 主要製品 : 内燃動力機械向け金属加工部品
- 取引先 : 自動車メーカー
- 国際認証 : ISO14001, ISO16949
- 日本企業との取引経験 : 有

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本から先進的な技術を導入し新たな製品を開発、製造、販売するための合併会社の設立について、日本企業との商談を希望している。エンジニアリングに関わる企業であれば業種・分野を問わないが、競争力の高い新製品を開発する能力や環境適合技術、研究開発力を有する企業と協力したいと考えている。当社としては、合併会社設立にあたり相応の投資を行う用意があり、また製造に必要な施設（既存施設の活用もしくは拡張）や労働力、現地でのサプライチェーンや規制、規格対応について貢献できるものと考えている。なお、商談にあたっては合併会社設立を前提とした議論を希望するが、例えば技術支援、技術提携等といった合併以外の形態での協業についても、幅広く議論、検討が可能である。

[会社概要]

自動車（四輪・二輪）向けの金属加工部品を主として製造販売するメーカー。主な製品は、二輪車向けシャーシ、燃料タンク、ブレーキ部品等であるが、近年はクランクシャフトやプッシュロッド等の精密加工も手掛ける。売上の9割程度は自動車産業向け、残り1割は家電メーカー等への部品供給となっている。インドにおける主要産業集積地のひとつであるグルグラムに本社を持つとともに、インド全土に6カ所の工場があり全国の顧客に対応している。今後さらに製品・顧客の多様化を図るとともに、インド国外の顧客への輸出を拡大し、継続的な事業成長を実現したいと考えている。